

基幹病院ジェネリック医薬品リストに関するアンケート  
(薬局)

令和3年2月  
福岡県薬務課

## 目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象・方法	1
3. 調査期間	1
4. サンプル数	1
II. アンケート調査結果	2
1. 基本情報	2
(1) 所在地	2
(2) 処方箋応需診療科	3
2. 福岡県基幹病院ジェネリック医薬品採用品目リストについて	5
(1) 福岡県基幹病院ジェネリック医薬品採用品目リストの概要	5
(2) アンケート結果	6
3. ジェネリック医薬品採用に関する重要度等アンケート調査結果について	19
(1) ジェネリック医薬品採用に関する重要度等アンケート調査の概要	19
(2) アンケート結果	20
4. 福岡県ジェネリック医薬品ガイドブックについて	26
(1) 福岡県ジェネリック医薬品ガイドブックの概要	26
(2) アンケート結果	27
5. ジェネリック医薬品の使用状況など	37
(1) ジェネリック医薬品の採用に対する姿勢	37
(2) ジェネリック医薬品使用率	38
(3) 全医薬品品目数に占めるジェネリック医薬品の割合	39
(4) 先発医薬品からの変更不可の応需処方箋の割合	40
(5) ジェネリック医薬品を採用していない事例について	41
(6) ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案	42

# I. 調査の概要

## 1. 調査目的

令和2年3月に医療機関及び薬局に配布した以下の資料について、活用状況、内容に関する意見などを把握し、今後の資料作成の参考とすることを目的としてアンケート調査を実施した。

- ・最新版の「基幹病院採用ジェネリック医薬品リスト」
- ・医療機関及び薬局がジェネリック医薬品への置換えの際に参考となる情報をとりまとめた「福岡県ジェネリック医薬品ガイドブック」

## 2. 調査対象・方法

対象・方法	福岡県内の薬局にアンケート票を郵送、郵送またはウェブサイト で回答
-------	--------------------------------------

## 3. 調査期間

調査期間	令和2年11月20日（金）～令和2年12月11日（金）
------	-----------------------------

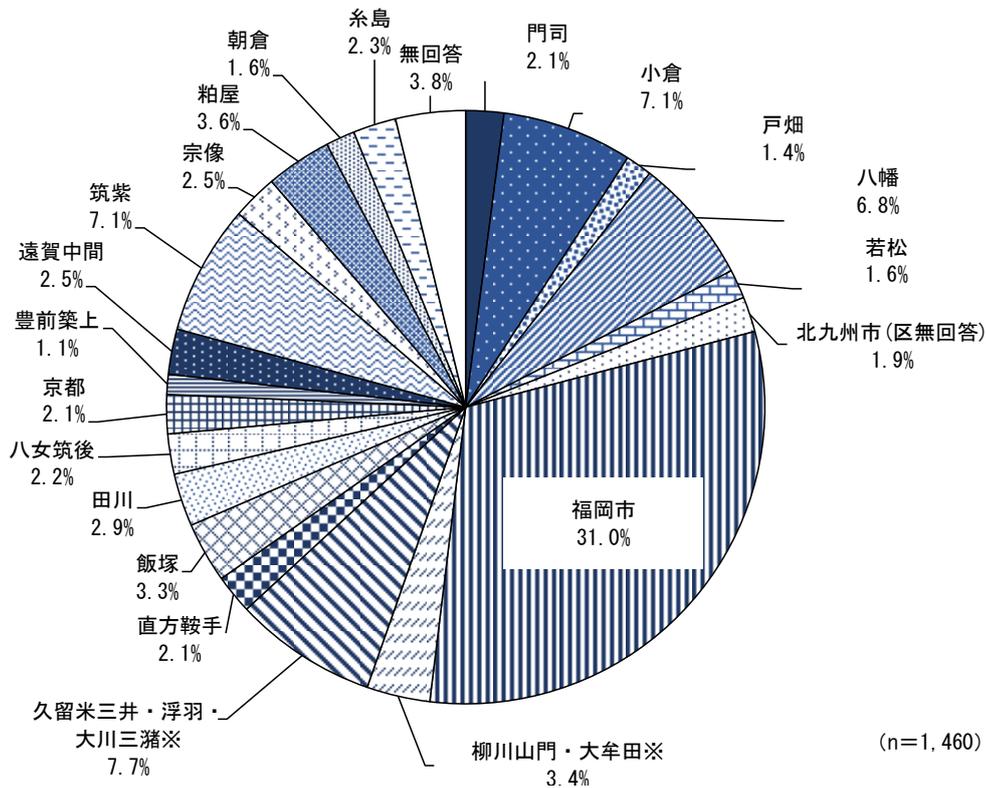
## 4. サンプル数

配布数	2,902 薬局
回収数	1,461 薬局（郵送：981 薬局 ウェブ：480 薬局） うち、無効1件
回収率	50.3%

## II. アンケート調査結果

### 1. 基本情報

#### (1) 所在地



件数			構成比 (%)		
1	北九州市	305	1	北九州市	20.9
1-1	門司	30	1-1	門司	2.1
1-2	小倉	103	1-2	小倉	7.1
1-3	戸畑	21	1-3	戸畑	1.4
1-4	八幡	100	1-4	八幡	6.8
1-5	若松	23	1-5	若松	1.6
1-6	北九州市(区無回答)	28	1-6	北九州市(区無回答)	1.9
2	福岡市	453	2	福岡市	31.0
3	柳川山門・大牟田※	50	3	柳川山門・大牟田※	3.4
4	久留米三井・浮羽・大川三潁※	113	4	久留米三井・浮羽・大川三潁※	7.7
5	直方鞍手	31	5	直方鞍手	2.1
6	飯塚	48	6	飯塚	3.3
7	田川	42	7	田川	2.9
8	八女筑後	32	8	八女筑後	2.2
9	京都	31	9	京都	2.1
10	豊前築上	16	10	豊前築上	1.1
11	遠賀中間	36	11	遠賀中間	2.5
12	筑紫	103	12	筑紫	7.1
13	宗像	36	13	宗像	2.5
14	粕屋	52	14	粕屋	3.6
15	朝倉	23	15	朝倉	1.6
16	糸島	34	16	糸島	2.3
17	無回答	55	17	無回答	3.8
	合計	1460		合計	100.0

※薬局の所在地の市名のみで所属薬剤師会の分類ができないため(久留米市、みやま市)、複数の地区医師会分を合わせて計上している(以下の設問においても同様)。

図1 所属薬剤師会

## (2) 処方箋応需診療科

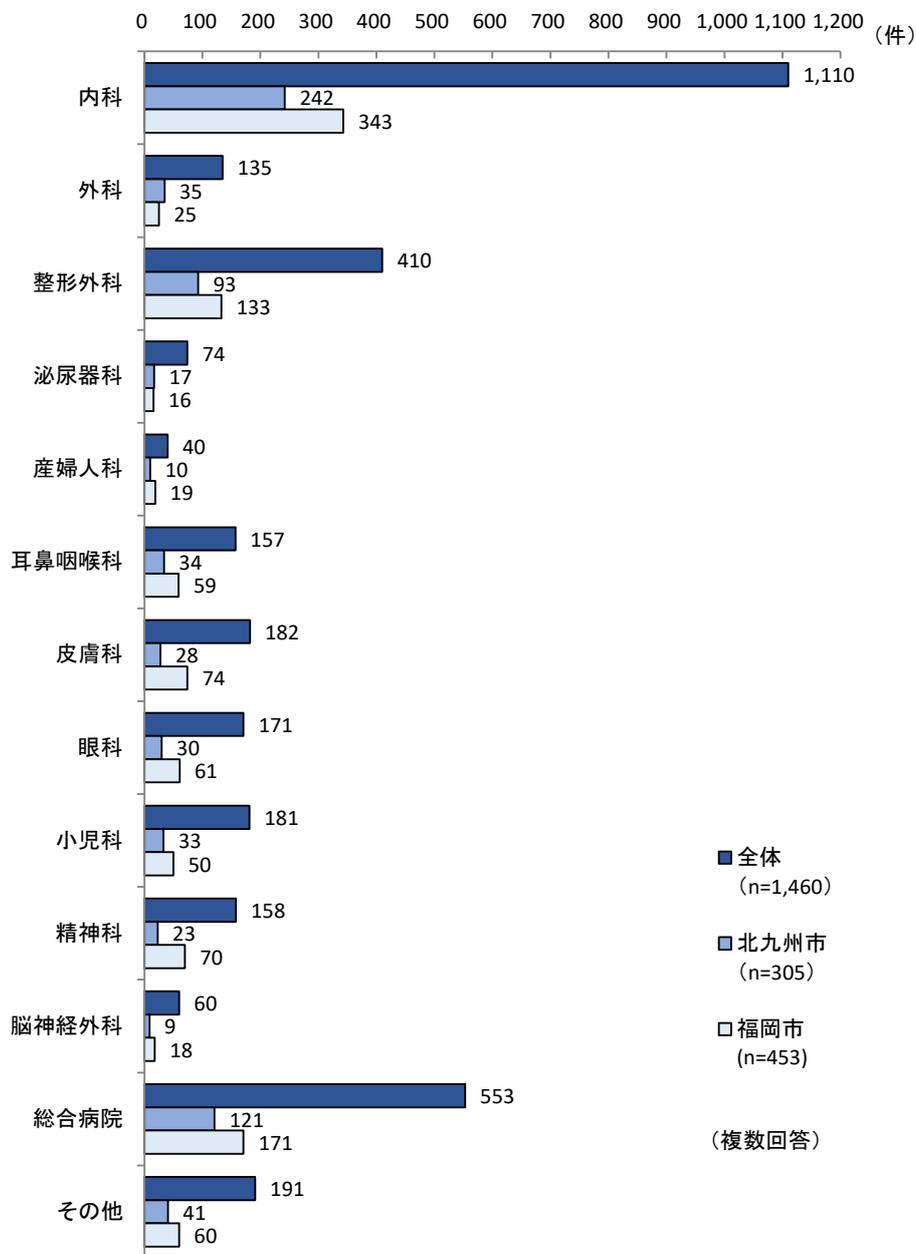
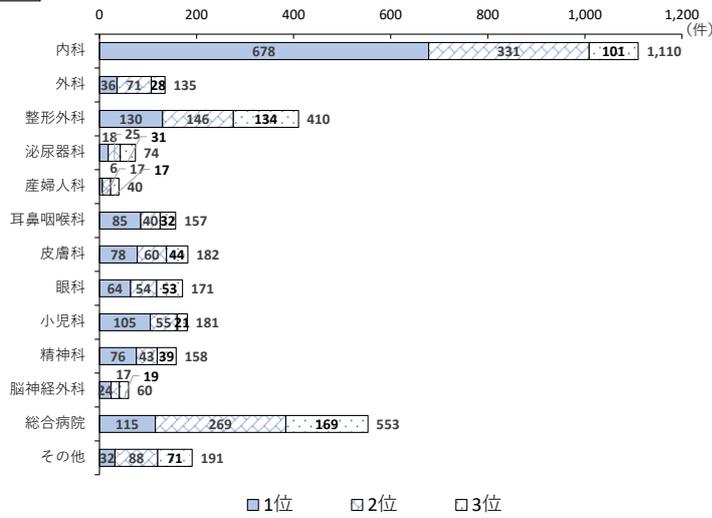


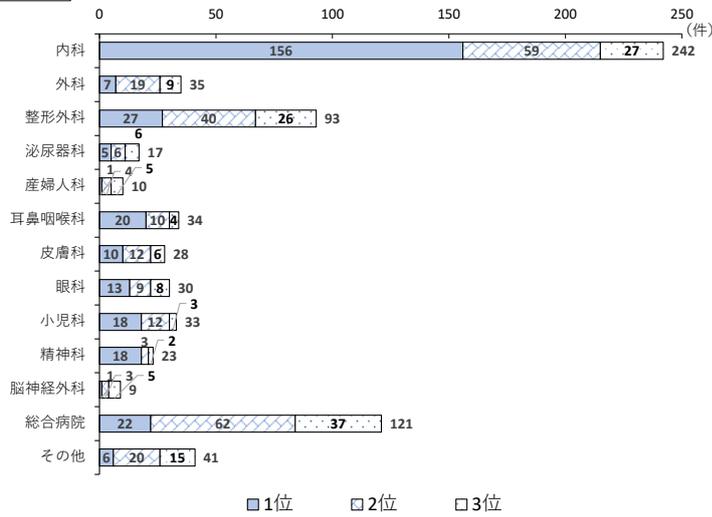
図2 処方箋応需診療科（上位3位の合計）

# 順位別

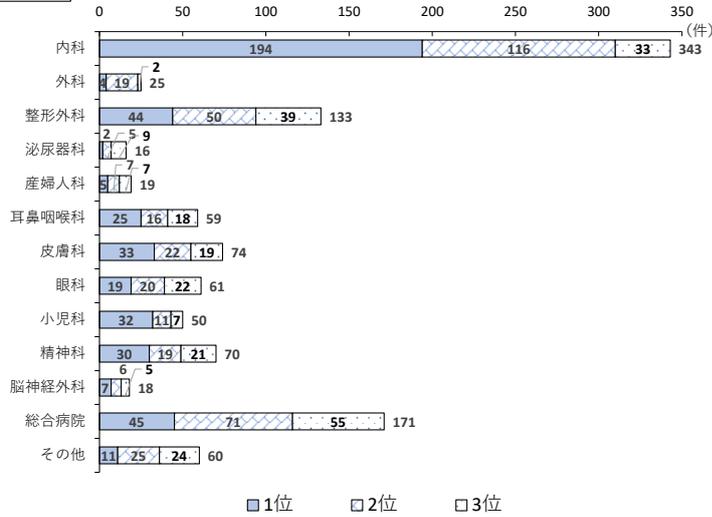
全体



北九州市



福岡市



## 2. 福岡県基幹病院ジェネリック医薬品採用品目リストについて

### (1) 福岡県基幹病院ジェネリック医薬品採用品目リストの概要

福岡県では、医療機関・薬局等がジェネリック医薬品を採用する際の参考となるよう、県内の基幹病院（19病院）で採用しているジェネリック医薬品の品目を一覧にした「福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会 基幹病院ジェネリック医薬品リスト」（以下「ジェネリック医薬品リスト」という。）を作成し、令和2年3月に医療機関・薬局に配布した。

【URL】 <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/108703.pdf>

### 【QRコード】



### 【リストイメージ】

成分名	規格	ジェネリック医薬品名	メーカー名	先発医薬品名	先発医薬品メーカー名	採用施設数 (北九州)	採用施設数 (福岡)	採用施設数 (筑後)	採用施設数 (筑前)	採用施設数 (全県)
<b>【内用薬】</b>										
<b>【循環系薬剤、抗不安剤】</b>										
エストゾラム	2mg1錠	エストゾラム錠2mg「アメル」	共和薬品工業	ユーロジン2mg錠	栗田テバ薬品	0	2	0	0	2
トリアゾラム	0.125mg1錠	トリアゾラム錠0.125mg「EMEC」	サンノーバ	ハルシオン0.125mg錠	ファイザー	0	1	1	1	3
		トリアゾラム錠0.125mg「日医工」	日医工			2	0	0	0	2
		トリアゾラム錠0.25mg「EMEC」	サンノーバ	ハルシオン0.25mg錠		0	1	0	0	1
フルニトラゼパム	1mg1錠	フルニトラゼパム錠0.25mg「TCK」	原白化学			1	0	0	0	1
		フルニトラゼパム錠0.25mg「日医工」	日医工			4	1	0	1	6
		フルニトラゼパム錠0.25mg「CHI」	共生堂製薬			0	1	0	0	1
フルニトラゼパム	2mg1錠	フルニトラゼパム錠1mg「アメル」	共和薬品工業	サイレース錠1mg	イーザイ	3	5	1	2	11
		フルニトラゼパム錠1mg「JG」	日本ジェネリック			2	0	0	1	3
		フルニトラゼパム錠2mg「アメル」	共和薬品工業	サイレース錠2mg		1	0	1	2	4
プロチゾラム	0.25mg1錠	フルニトラゼパム錠2mg「JG」	日本ジェネリック			1	0	0	0	1
		フルニトラゼパム錠2mg「TCK」	原白化学			0	0	0	1	1
		プロチゾラムM錠0.25「EMEC」	サンノーバ	レンドルモン錠0.25mg	日本ベーリンガーインゲルハイム	0	0	0	1	1
		プロチゾラム錠0.25mg「ヨシトミ」	中辺三友製薬			0	1	1	1	3
ジアゼパム	2mg1錠	プロチゾラムOD錠0.25mg「サワイ」	メデイサ新薬	レンドルモンD錠0.25mg		5	5	1	0	11
		プロチゾラムOD錠0.25mg「アメル」	共和薬品工業			0	1	0	1	2
		プロチゾラムOD錠0.25mg「チバ」	武田テバファーマ			2	0	0	1	3
		ジアゼパム錠2「サワイ」	ホ井製薬	ホリゾン錠2mg	丸石製薬	0	1	0	0	1
プロマゼパム	5mg1錠	ジアゼパム錠2「トーワ」	東和薬品	2mgセルシン錠	栗田テバ薬品	0	1	1	0	2
		ジアゼパム錠2mg「アメル」	共和薬品工業			1	0	0	0	1
		ジアゼパム錠5「トーワ」	東和薬品	ホリゾン錠5mg		0	2	1	0	3
ロラゼパム	0.5mg1錠	ジアゼパム錠5mg「アメル」	共和薬品工業	6mgセルシン錠		1	1	0	0	2
		セニラン錠2mg	サント	レキソタン錠2	中外製薬	3	1	1	0	5
アルプラゾラム	0.4mg1錠	セニラン錠5mg		レキソタン錠5		2	2	1	0	5
		ロラゼパム錠0.5mg「サワイ」	ホ井製薬	ワイバックス錠0.5	ファイザー	3	5	1	3	12
アルプラゾラム	0.8mg1錠	ロラゼパム錠1mg「サワイ」	東和薬品	ワイバックス錠1.0		0	2	1	0	3
		アルプラゾラム錠0.4mg「トーワ」	東和薬品	ゾラナックス0.4mg錠	ファイザー	4	4	1	0	9
		アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」	メデイサ新薬	コンスタン0.4mg錠	栗田テバ薬品	1	1	1	2	5
		アルプラゾラム錠0.8mg「トーワ」	東和薬品	ゾラナックス0.8mg錠		0	0	1	0	1
				コンスタンD 8mg錠						

## (2) アンケート結果

### ①ジェネリック医薬品リストの参考状況

ジェネリック医薬品リストの参考状況をみると、福岡県全体では、「当薬局ではリストは直接参考にはならないが、リストが配布された意義はあると感じる」が33.3%と最も多く、次いで「リストは現時点では参考になっていないが、新規薬を採用する際など、今後機会があれば参考になると思う」が26.2%、「リストは参考になった」が14.3%となった。

地域別にみると、北九州市では、「当薬局ではリストは直接参考にはならないが、リストが配布された意義はあると感じる」が33.1%と最も多く、次いで「リストは現時点では参考になっていないが、新規薬を採用する際など、今後機会があれば参考になると思う」が25.2%、「リストは参考になった」が15.1%となった。

また、福岡市では、「当薬局ではリストは直接参考にはならないが、リストが配布された意義はあると感じる」が33.1%と最も多く、次いで「リストは現時点では参考になっていないが、新規薬を採用する際など、今後機会があれば参考になると思う」が25.4%、「リストが配布された意義をあまり感じない」が15.9%となった。

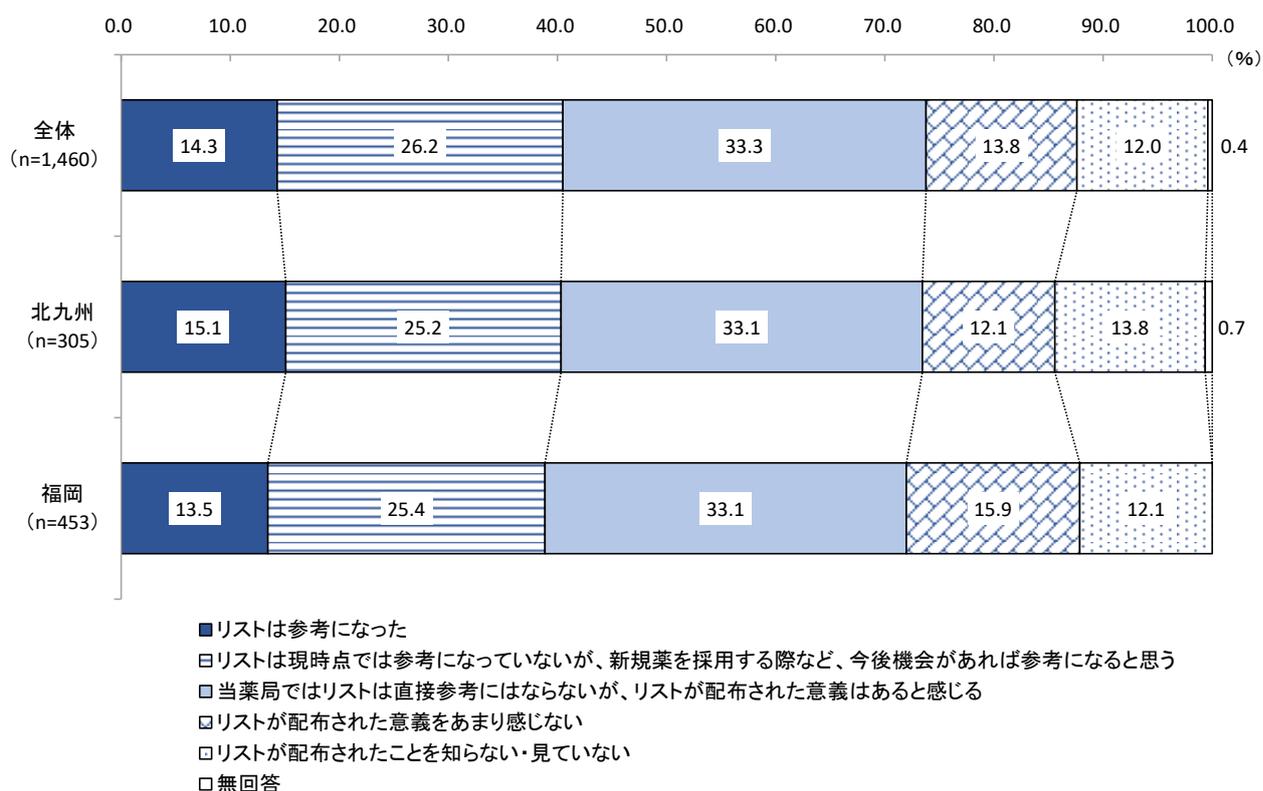


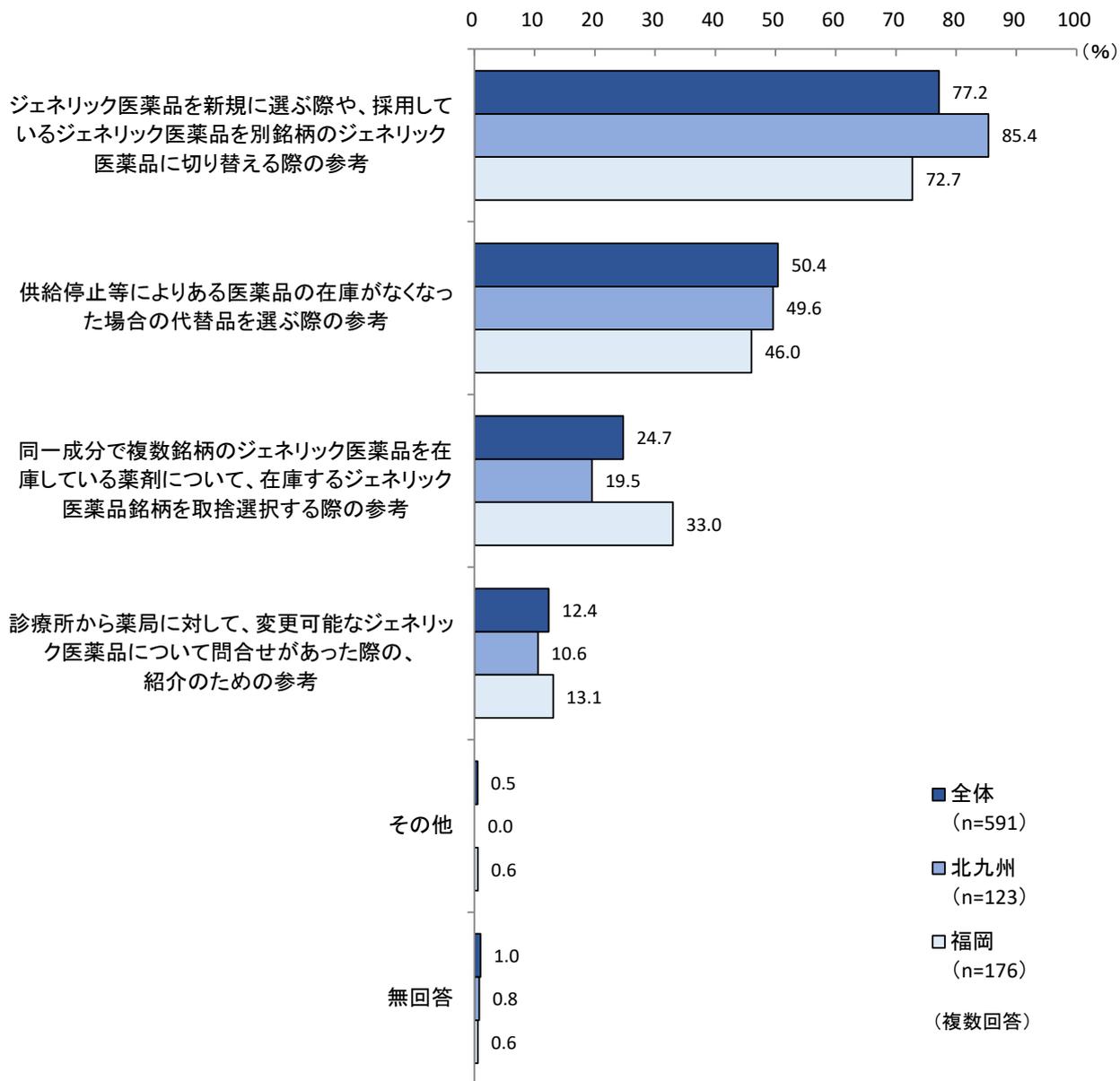
図3 ジェネリック医薬品リストの参考状況

## ②ジェネリック医薬品リストが参考になった点

ジェネリック医薬品リストがどのような点で参考になったかをみると、福岡県全体では、「ジェネリック医薬品を新規に選ぶ際や、採用しているジェネリック医薬品を別銘柄のジェネリック医薬品に切り替える際の参考」が77.2%と最も多く、次いで「供給停止等によりある医薬品の在庫がなくなった場合の代替品を選ぶ際の参考」が50.4%、「同一成分で複数銘柄のジェネリック医薬品を在庫している薬剤について、在庫するジェネリック医薬品銘柄を取捨選択する際の参考」が24.7%となった。

地域別にみると、北九州市では、「ジェネリック医薬品を新規に選ぶ際や、採用しているジェネリック医薬品を別銘柄のジェネリック医薬品に切り替える際の参考」が85.4%と最も多く、次いで「供給停止等によりある医薬品の在庫がなくなった場合の代替品を選ぶ際の参考」が49.6%、「同一成分で複数銘柄のジェネリック医薬品を在庫している薬剤について、在庫するジェネリック医薬品銘柄を取捨選択する際の参考」が19.5%となった。

また、福岡市では、「ジェネリック医薬品を新規に選ぶ際や、採用しているジェネリック医薬品を別銘柄のジェネリック医薬品に切り替える際の参考」が72.7%と最も多く、次いで「供給停止等によりある医薬品の在庫がなくなった場合の代替品を選ぶ際の参考」が46.0%、「同一成分で複数銘柄のジェネリック医薬品を在庫している薬剤について、在庫するジェネリック医薬品銘柄を取捨選択する際の参考」が33.0%となった。



その他の内容	
不動在庫となった時の交換の目安	
リストにあるジェネリックは当薬局でもすでに採用しているものだったが、基幹病院が選んだメーカーを知る事が出来、今後の参考になると感じた	
本部に指定されたメーカーを選ぶことが多いため	

図4 ジェネリック医薬品リストが参考になった点

### ③ジェネリック医薬品リストが参考にならなかった点

ジェネリック医薬品リストがどのような点で参考にならなかったのかをみると、福岡県全体では、「独自の判断でジェネリック医薬品を採用しているから」が66.6%と最も多く、次いで「すでに積極的にジェネリック医薬品を採用しており、リストを参考にする必要がないから」が52.3%、「参考となる病院のジェネリック医薬品採用品目はすでに知っているから」が7.1%となった。

地域別にみると、北九州市では「独自の判断でジェネリック医薬品を採用しているから」が60.9%と最も多く、次いで「すでに積極的にジェネリック医薬品を採用しており、リストを参考にする必要がないから」が56.5%、「参考となる病院のジェネリック医薬品採用品目はすでに知っているから」が10.1%となった。

また、福岡市では「独自の判断でジェネリック医薬品を採用しているから」が66.7%と最も多く、次いで「すでに積極的にジェネリック医薬品を採用しており、リストを参考にする必要がないから」が50.0%、「既存の他のリスト（福岡県が作成したもの以外）を活用しているから」が5.0%となった。

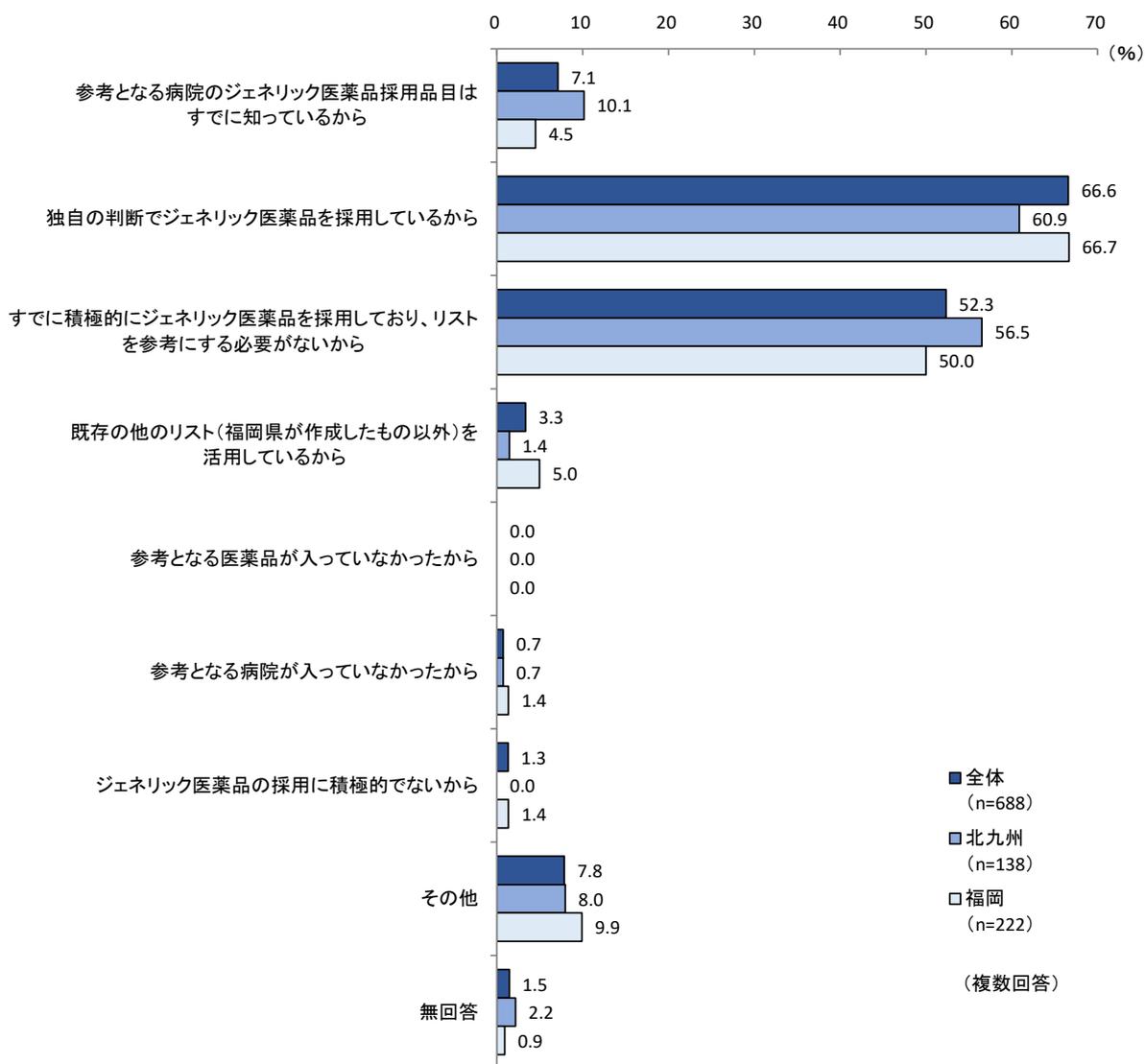


図5 ジェネリック医薬品リストが参考にならなかった点

参考にならなかった点のその他をみると、「会社の意向」が20件と最も多く、次いで「医師の意向」が6件、「少ない、ない」「意見」が5件となった。

**表1 ジェネリック医薬品リストが参考にならなかった点（自由記入）**

**【その他 内容分類】**

No.	内容分類	回答数
1	会社の意向	20
2	医師の意向	6
3	少ない、ない	5
4	意見	5
5	メーカー不問	3
6	独自採用	3
7	統一できない	3
8	メーカー・卸からの情報	2
9	権限なし	1
10	その他	5
	総計	53

## 【その他 自由記入】

薬剤師会	その他の内容
北九州市	処方医が使用したいメーカーを使用しているため 一般名処方の場合には同一薬価なら銘柄は変更できるため独自の採用ルールに乗っ取って採用している。
北九州市(戸畑)	会社指定あり 必要とする処方箋を受けたことがない。 基幹病院からの処方箋はほぼ回ってこない点、後発品同士のメーカー変更は可である点をふまえて購入しやすいものを採用している
北九州市(小倉)	会社が決めた推奨品を採用している 社内推奨品より採用薬を決めている為 社内でジェネリック採用メーカーが決まっている事が多いため 医師がジェネリック医薬品の採用に積極的でないから メーカーが統一されていないから
北九州市(八幡)	会社に推奨品目がある為
福岡市	会社で統一してメーカーを決めている グループ店の採用医薬品に合わせているので グループ薬局なので採用品目分かっているから ジェネリック採用率は値段や同グループが採用しているかどうかで社長の判断によるため ジェネリックの採用に関しては本部で行っているため チェーン店なので他店舗とジェネリック医薬品採用品目を合わせている 本社がジェネリック採用品目を指定しているため 本社でどこの会社にするか全て決定しているため 基幹病院の患者さんがあまり来局しないから 基幹病院の処方箋が来ないため 処方箋が来ていないため みにくい 医療機関別のリストでないため 採用施設数が少なくあまり参考にならない 各病院の採用メーカーをそれぞれ取り寄せるのは非効率、一般名処方になっていればどのメーカーで対応しても問題ないと思う 一般名処方をすべきで、メーカー指定で処方することに問題ありだと考えるため 変更不可とされていない以上、メーカーなどの変更は可能であるため 基幹病院ごとに採用が異なっているのでなかなか同じ成分の薬で複数の薬品を採用できないですね 複数の医療機関からの処方箋を扱っているため統一する目的がない、リスト化に意義を感じないため 卸からの情報入手(在庫状況) 設問3の病院(医院)以外からの処方箋ができないため ジェネリックは近隣の薬局の採用品目を重視しているから
柳川山門・大牟田	流通を重視
久留米三井・浮羽・大川三瀬	グループ薬局での採用品目を使用する為 主に処方箋が来る医院が、ジェネリックもメーカー指定で変更不可の為
飯塚	会社の方針、変更不可の処方 メーカー、卸等のアナウンスで十分だと思う
八女筑後	選定基準を視認性としているため
京都	チェーン薬局の為、採用メーカーは本社が決める為
豊前築上	グループ薬局の採用品目を参考に新たなものを決定
遠賀中間	一般名処方であるため基幹病院の採用ジェネリックとは関係ないため
筑紫	GEメーカーを指定してくる医師がいるから 門前のDrがジェネリックに消極的なため 決めるタイミングで採用されていない事が多い
粕屋	会社での推奨品目が決まっているから 当店では門前2店の施設以外の病院等の院外処方箋が少ないため 総合的に採用されている数ではなく、個別的にわかるリストが欲しい
糸島	社内で推奨メーカーが決まっている為 制度が変わったから (GE同士で変更が可能であるため)
-	姉妹店が複数あり、そここのやりとりが出来るように銘柄を統一している ジェネリック採用に関しては主たる処方元からの指定があるから 「14T包装が存在するか」「他の採用薬と見た目の類似は無いか」「適切な納入価で仕入れられるか」という実務上必要な情報が無いから。採用施設数はメーカーにとっては有用だと思うが……。

#### ④ジェネリック医薬品リストを参考とした事例・取組について

ジェネリック医薬品リストを参考とした事例・取組をみると、「採用時・切替時の参考」が36件と最も多く、次いで「病院の銘柄に合わせる」が30件、「代替品の参考」が11件となった。

表2 ジェネリック医薬品リストを参考とした事例・取組（内容分類）

No.	内容分類	回答数
1	採用時・切替時の参考	36
2	病院の銘柄に合わせる	30
3	代替品の参考	11
4	メーカーの参考	8
5	安定供給品の参考	5
6	患者への説明	5
7	AGの採用時の参考	2
8	GEへの積極変更	1
9	具体名	8
10	その他参考情報	13
11	その他	2
	総計	121

表3 ジェネリック医薬品リストを参考とした事例・取組一覧（薬剤師会別）

薬剤師会	リストを参考とした事例・取組
北九州市	近くの広域病院の採用品を参考にしている
北九州市(門司)	新規採用品に対する備え 多く採用されていることは安心できる。採用する場合参考にしたい。
	精神科の患者さんを主に受付してるが薬品名メーカー等にこだわりが強い方もいるので採用数が多い薬品メーカーを中心にそろえる様にとりくんでいる
	今はないが、病院の門前にあわせたGEを使いたい 供給停止の際に代替薬の選択や 新規採用時に参考にしたいと思います。リストを参考にすると 患者様の退院時→外来の際も負担が少ないと思います。
	【先発品名】の後発品について参考になりました 近隣の薬局と同じメーカーを購入する情報となった薬が処方されなくなった時のため
北九州市(若松)	基幹病院からかかりつけ医へ転院の際、継続処方となることもあり、同じものの採用を積極的に検討している
北九州市(戸畑)	処方箋応需の病院の採用に合わせて銘柄を決定したことがある なるべくAGを選んでいる。安定供給できるところを選ぶ
北九州市(小倉)	新たに発売されるジェネリック医薬品を採用する際に参考にしました GEがあるかの確認に使用
	他の施設が使っていないジェネリックは採用しにくい。採用条件のひとつに近隣での採用品を当薬局では採用している
	応需している基幹病院と同じジェネリック医薬品を採用するようにしている。
	1つのメーカーのジェネリックが回収になった時の代替選択 採用しているジェネリック医薬品のメーカーの対応が悪く、他のメーカーに切り換える時の参考にした。
	【先発品名】、【先発品名】、【先発品名】等の品目選定 【後発品名】、【後発品名】
	デッドストックになった時や薬が不足した時に薬を購入しやすいから グループ薬局のため、グループ全体で推奨されるメーカー、製品がありそれとの比較には役に立つと思う 現状では、主な処方箋の応需精神科のみで今後医薬品の供給が困難の場合リストを参考にするが、そういう非常時に卸が当局で在庫していない医薬品を提供していただけるかどうか疑問
北九州市(八幡)	新規採用時に参考として 新規採用時の薬品を選定する時 新規GE採用する際に参考
	自薬局でジェネリックを採用する時に参考になる
	多くの病院で採用しているので安心なため、薬を変えるときにその薬で採用したほうが患者が安心するため ジェネリック医薬品の採用に際しての参考資料となるため。基幹病院での採用薬に合わせるため。
	広域病院（基幹病院）と自局のジェネリックを同じにすることで在庫を抑える事ができる
	初めての患者、ファックスで連絡が来た場合、一般名では採用品が不明（病院も初めての場合）なことが殆どであり、どのメーカーを選定するか薬に立つ（あらかじめ薬品の準備をせねばならない）
	供給安定な銘柄

薬剤師会	リストを参考とした事例・取組
福岡市	新規採用時に参考にしています
	新規採用の際に参考にします。
	急きょ広域の処方箋を受け付け、複数のジェネリック医薬品を新規採用する場合に参考にさせて頂きました。
	新しくジェネリックを採用する際の見積対象品目とした
	基幹病院からの処方があった際に参考にした。(実際は当薬局の採用薬でお渡しした。)
	医師またはMSさんに相談してアドバイスを受けながらジェネリック医薬品の採用品を決めています、それでも決まらないときはリストを参考にさせて頂いています
	患者からジェネリックの希望銘柄をいわれ、採用していたものとは異なった為、リストを参考に希望のものを仕入れました。
	当薬局にてジェネリック医薬品の採用を検討する際に、メーカー選定で悩んだ場合の参考にしました。
	当薬局は会社が定めた推奨ジェネリックがあるため基本的にはそれに沿って採用品目を決定しているが、会社の推奨品が定まっていない薬もあるため、そういった薬についてはリストを参考にしたいと思う。
	色々ジェネリックを選ぶ資料にはなる。
	採用品時の参考資料とします。
	抗生剤のジェネリック医薬品を採用する際に一番多く参考にしている。又、できるだけ近隣の総合病院・大学病院で採用されているものを採用するようにしている。
	基幹病院の処方箋を応需する機会がかなりあるので、ジェネリック医薬品を採用する時に同一銘柄で採用する場合があります
	同成分で大病院で採用されていると採用するにあたって安心感がある。近くの薬局に分譲してもらえる
	新たにジェネリックを採用の際に近くの広域病院と同じものを採用しようと思っている。
	薬局において後発医薬品を新規採用する際、基幹病院において採用されている薬剤を基本に考えて選択している。
	広域医療機関の処方箋にも対応できる準備ができる
	元々、基幹病院の門前薬局で調剤されていた方がお薬手帳不要だったこともあり、今までもらっていたジェネリックのメーカーがわからなかったが、リストを見て把握できました。
	広域の患者さんにお薬をお渡しの際の選定時参考にしています
	使用中の医薬品が製造中止になった場合に他のGEに切り替える時に参考になった
	メーカー変更の際に役立った
	ジェネリック医薬品メーカーの変更時に利用。基幹医療機関での採用品目だと患者に説明つきやすい事がある。
	新薬採用の時に、メーカーをそろえる。
	メーカー選択について参考にした
	安定供給について参考になった
	安定供給
	広域で処方された時や患者さんに説明し納得して頂いています
	できるだけ患者さまにジェネリック医薬品のことを知ってもらい、使ってもらうために参考にさせて頂いています。
	患者さんと薬を選ぶ際にメーカー名を出して話ができ
	専門で診てある病院等で採用してであると自分も安心だし、患者さんにも伝わりやすい。変更につながると思っています。
AG医薬品を選ぶ時に参考にすることあり。	
GEの変更を積極的に行った	
【先発品名】→【後発品名】 【先発メーカー】と【後発メーカー】	
クリニックから薬局に対して問い合わせがあり、リストを参考にしすぐに対応できた	
【病院名】の処方の時に対応しました	
手帳ない方の普段飲んでる薬のデザインギャラリーサイトリストから検索してみることができた	
他県から異動してきたばかりでリストについて知らなかったが、今後参考にしたい。	
同成分でメーカーが違うお薬を探す時に役に立ちました。	
GEを選択する際、判断や参考にさせて頂いています。	

薬剤師会	リストを参考とした事例・取組
柳川山門・大牟田	<p>薬効別になっているから先発、ジェネリックの区別がわかりやすく先発→ジェネリックの切り替えがスムーズ ジェネリック医薬品採用に際し参考にしました 今は参考にしていないが、供給停止となったものがあつた場合の代替薬の参考にする可能性はあると思う 供給等に問題が少ない薬剤が多く選択されていると考えられるので。</p>
久留米三井・浮羽・大川三瀬	<p>自分の薬局の処方せん応じゅ病院の採用品目を知ることができた 前問の回答と同じく、ジェネリック切り替え時の参考とした 新規に採用する際にリストと同じ銘柄を選択して基幹病院の処方にも対応できるようにしている 大学病院採用分を優先して採用 後発医薬品の会社が変わると見た目が変わり不安になる患者様がおられるので病院の採用薬に会社を合わせた事例 ジェネリック薬は最近特に自主回収薬が増えているので代替品を選ぶ際に参考にしている ジェネリック薬の自主回収が最近多く見られるので代替品を選ぶ参考となった 供給停止などで他のジェネリック医薬品を取り寄せるときに参考にしました。 供給不安定な既採用品を切り替える際の判断材料として 【後発品名】テーブル 【後発品名】から【後発品名】に変更。【後発メーカー】の入手困難のため</p>
直方鞍手	<p>多く使われているメーカーのものを優先して採用した 地域の病院で多く採用しているものを採用できた。患者さんも入院に処方されていたものと同じならと安心される方もおられるので、助かりました 向精神薬系は患者様もなかなか変更しにくいのだがリストを参考に基幹病院が使っているということで後発品に変えることができた 【後発品名】の普通錠からOD錠へ変更する際、当リストを参考にし銘柄を選択した</p>
田川	<p>ジェネリックの選択に役立ってます 供給停止になった際の代替ジェネリック選定に参考にしました。</p>
京都	<p>既存のGEで新たに採用を検討する際に近隣の基幹病院の採用を参考にしました。 後発メーカーが製造中止したりした時に切り替えの選択の参考に役立っています。</p>
豊前築上	<p>安定供給のメーカーの参考になりました</p>
遠賀中間	<p>その地区でどこのメーカーがよく使われているかを判断材料としました。 処方是一般名が多いので、患者様に先発、後発の希望で投与</p>
筑紫	<p>新規採用薬を選ぶ時、福岡で流通しているのを選びました。 AGのないGE新規採用検討の際に参考にする 当薬局で初めて採用する医薬品の場合は、参考にする 自社の薬局グループでの採用がない品目については参考にしている。 新規でとる場合どうしても余る可能性が高いのでよく出ている会社のものをとれば余った場合でも対応しやすい 製剤の特徴があるジェネリックは病院採用品に合わせた 後発品メーカーが多くて選べないときは広域病院で使用されている薬品を採用する どのメーカーか迷う際は、近隣の基幹病院の採用品目を参考にする。 ジェネリック採用品目リストに載っている医薬品は患者に説明しやすく、先発からジェネリックからジェネリックへ変更する際に用いている 今のところ特にないが、近隣HPのDrは周辺の大病院での取り扱いメーカーを気にされたりするため提案する際に役立ちそう 基本的には独自にジェネリックは採用しておりますが、基幹病院などの処方せんで至急手配しないといけない場合などに卸に確認する時間の短縮になることがある。</p>
宗像	<p>広域での採用の多いジェネリックや供給の安定しているメーカーのものを参考に選んでいます 【一般名】で採用品の流通が困難になった時参考にした。 ジェネリック薬品でメーカーの選択に迷った場合に参考にしました 精神科系、抗がん剤等薬剤</p>
粕屋	<p>転院された患者の使用薬品が分かること</p>
朝倉	<p>地域で採用された医薬品は、安心して採用できる。 代替品を選ぶときに使用しました 薬局の方が採用が早いので、新発売は参考にできない</p>
糸島	<p>採用品目の剤形選択など 新規の処方箋で、在庫がない医薬品。患者さんとの会話で、先発品からの変更の時 ジェネリックを採用する際、基幹病院採用の品目だと卸が持っている可能性があるため、採用しやすい。 総合病院からの処方箋のジェネリック選択の際に使用されている薬剤を参考に薬剤を決定しました 数値で多くジェネリックを採用してるお薬もある一方で県内でトータル「1」だと後発に切り替えにくさがあるかも知れないと思いました。</p>
-	<p>新規採用時、ジェネリック医薬品を選ぶ時に参考にした</p>

⑤ジェネリック医薬品リストに関する改善要望や意見など

ジェネリック医薬品リストの改善要望や意見をみると、追加を希望する項目として「選定基準」が8件と最も多く、次いで「病院名」が7件、「AG」が5件となった。また、リストの体裁等については、「掲載方法」が10件と最も多く、次いで「電子データ」が2件となった。

表4 ジェネリック医薬品リストに関する改善要望や意見など（内容分類別）

大分類	No.	内容分類	回答数
追加希望項目	1	選定基準	8
	2	病院名	7
	3	AG	5
	4	薬価	3
	5	対象病院の拡大	3
	6	適応症	2
	7	対応卸	2
	8	流通状況	1
	9	医療機関のコメント	1
	10	安定供給	1
	11	項目の追加	1
	12	原産国	1
体裁等	13	掲載方法	10
	14	電子データ	2
その他	15	不要	9
	16	定期的な改定	5
	17	参考になる	2
	18	その他	17
		総計	80

表5 ジェネリック医薬品リストに関する改善要望や意見など一覧（薬剤師会別）

薬剤師会	リストに関する改善要望やその他意見
北九州市 (門司)	AG以外、医療機関がどうしてそのジェネリックを採用したか理由が解れば採用時参考になる 今から新しくジェネリックで発売される薬品の予定や成分開示などあれば参考にさせていただきます
北九州市 (小倉)	薬価を入れる 推奨銘柄を作る事ができないでしょうから、差別化できない情報は無意味と思います。 安定供給のできるGEのリストがほしいです。【後発メーカー】は信用できません オーソライズド・ジェネリックのあるジェネリック医薬品にAGなどの記載がありますと、よりありがたいかと思 います 文字が小さくて読みづらいです 変更不可でない限り基幹病院に合わせる必要はないので「ジェネリック医薬品リスト」のような立派な冊子を作 成・配布する必要があったのか・・・と思います。
北九州市 (八幡)	なるべく多くの病院の採用状況を掲載してほしい 採用品目（メーカー）の参考になるので続けて下さい（2年に1度くらい） 一般処方だったらメーカーにこだわらなくていいのではないかと思います、患者さんが薬を変えてほしくない 時は参考になります。 基幹病院で採用していても、当薬局でデッドストックになったとき廃棄せず交換できるとは限らない。基幹病院 よりも地域の薬局でより多く使われている品目を選択するほうが様々な面でメリットがある。薬剤師会会員薬局 で扱っているジェネリックのデータは調べることができるため、基幹病院のリストはあまり必要性は感じない。
福岡市	可能なら、薬価があればと思う 薬価も書いてあるといいと思います。 病院毎のリストでないと、意味をなさない。またその病院がどのような理由で採用したかなど知りたい リスト中に基幹病院名が入っていると参考になると思います 地区ごとに病院別の採用GE薬一覧もリストとして掲載していただくと更に参考になります。 先発医薬品と比較し、利点を知りたい。適応症の違い、承認を近々取れることの情報を知りたい。 調査対象の施設数を増やしてほしい 病院がそのGEを採用している(医学的)根拠が分からないことには参考にしようがない メーカー数が少ない気がします。採用の理由があれば教えて欲しいです 基幹病院が採用医薬品とした後発医薬品のメーカーの選定理由が知りたい。 もう少し実数が解りやすくなれば良いのと、公費のみの人分けて欲しい 〇〇錠のこのメーカーを採用した。その理由は～と記載が欲しい 拠点病院（特に国立系）が何故その薬剤を採用しているのか可能な限り知りたい。供給であれば災害時に対応す るため足並みをそろえた方が良いと思うから。 専門医療機関でのコメント等あればより採用しやすいと考えます あまり流通していない薬剤は在庫している間屋もわかるとありがたい AGIにはAGと印をして欲しい AGがわかるようにして欲しい AGの一覧が欲しい オンライン化して欲しい 個別購入できるようにしてほしい PDFで、追加情報をアップ出来るようにしてください 先発品であいうえお順にリストにしてもらいたい リストが薬効順になっていて探しにくかったです→どの薬剤が何ページにあるか分からなかった 医療機関ごとの一覧だと参考にしやすい 広域である程度統一してほしい 新たに採用になった銘柄や変更になった銘柄など年に一度位変更して欲しい 変更不可の場合の根拠を記載していただきたいです より多くの病院のリストが出たら活用する場面も増えると思う。 リスト作成ではなく、各医療機関への一般名処方の徹底依頼 先発希望患者への一般名処方控えてほしい 各病院で採用する際に重視する条件は概ね一致するが、結局、採用メーカーは各病院・診療所において異なるた め、面で受ける薬局としては独自の判断での採用とするしかない。 ジェネリック採用の参考になるので改善は必要ないと思います。 使用率の算定方法が少しおかしい。特に生活保護について。 昔と違って（5.6年前）患者さまもジェネリック医薬品が浸透し、ドクターも変更の確認の電話をしたら「もち ろんです」「どうぞ」と快諾いただけるので リストまでもうつくらなくても。 あまり必要性を感じませんでした。 広域病院でジェネリックのメーカー全て指定され変更不可で来るところが あります。そういった変更不可の処方が減ると、よりジェネリック調剤が進むと思います。 範囲が広すぎるので活用はできない。 アップデートしていただきたいと思っています

薬剤師会	リストに関する改善要望やその他意見
柳川山門・大牟田	量多く難しいが、選んだ理由が載っていれば参考になる。大きいところは安さで選ぶイメージもあったので、体内動態などより先発に近い・患者が出しやすいなどの理由が手取り早く分かるならとても参考になる。ただアンケート結果で重要視しているところなど分かったのでとてもよかった。現在はたくさんのメーカーが後発出するので、比較が難しいため。また、使用により先発より効果劣ったように思う・変化なかったなどの使用後のデータあればより後発を導入する機会は増えると思う。 現薬や賦形剤の製造元・国が何処か分からず安心できない
久留米三井・浮羽・大川三瀬	具体的な病院名・薬局名まで分かるのであれば、大変参考になると思う。 地区別の採用メーカーに差があるのは興味深いデータだが、病院名がないと購入メーカー選定の参考にはならない AG製品があればわかるようになってれば助かります。 今からは基幹病院のジェネリック医薬品の採用メーカーは何にしる必要な情報なのでこういったリストはありがたい。 自店で採用している後発品を使用したいので、変更不可でない限りリストは参考にならない。
直方鞍手	採用している基幹病院名がわかるようにしていただきたい もう少し字を大きくして欲しい
飯塚	採用施設の名称を記載していただければ、他地区のメーカーの採用状況が分かるため、採用時の比較がしやすい 掲載品目について令和元年12月時点のものであり、その後のジェネリック薬価基準収載品目や再検討されたジェネリックの情報更新や追補がない状況です。出来れば薬価収載毎での定期的な見直し、追補があるとより良いと思います。
田川	希望する薬局のみに配布すればよいと思う 後発→後発は変更OKなので今後も参考にすることはなさそう
八女筑後	どれが一番市場に売れているか リストの更新頻度が知りたい
遠賀中間	リストが見にくくて、探すのが大変です 院外処方せんを発行する病院は一般名処方をすべて基本としてほしい（商品名での処方ではなく） ジェネリック薬は薬局の判断で揃えているので処方 came 時点で患者様と相談の上調剤しているため、リストはなくても良いと思われる。ジェネリックのメーカーについてはネットで調べることが多い。
筑紫	もう少し細かく市ごとにしていただければより助かります ジェネリック変更の際に各医療機関毎に合わせると在庫が増えてしまう このままで十分です 基幹病院全て一般名処方していただくことを希望。 総合病院が採用してるGEのリストの方が役に立つと思う
宗像	卸ごとに取扱メーカーがない事も多いので、それが分かると発注しやすい 探しにくい 改善要望ではありません、リストを見ると地区ごとの施設の使用量がまとめられているので分かりやすいと思いました。また北九州の施設の処方で処方数が少ない時、福岡の方で在庫がない場合など困る時もあります。このリストで先に判断できるメリットは感じました。
粕屋	先発と後発で適応が異なるもののリストも併せて記載して頂くとより目を通す機会が増えると思います。 結局、卸の流通状況で判断している。
朝倉	筑後地区2病院のみで、あと2~3病院に拡大してもらいたい。 福岡県薬剤師会の「VPCS」システムで十分
糸島	福岡地区のリストだけでいい（九大・福大・医療センター） ある病院は例えば【一般名】50mgしか規格を在庫しておらず、100mgは2錠でお渡ししているようなので、飲む錠数が変わると患者さんは不思議に思われます。在庫の都合だと思いますが、そういうのが改善されたらリストの結果も変わってきて薬局側もさらにリストを活用しやすくなるのではないかと思います。検索ページ(3文字以上入力)があれば早く見つけやすくなるのでは・・・
-	Q6にも記載しましたが、薬局側にとっては ・ 「14T包装が存在するか」 ・ 「他の採用薬と見た目の類似は無いか」 ・ 「適切な納入価で仕入れられるか」 といった情報があると使いやすいです。

### 3. ジェネリック医薬品採用に関する重要度等アンケート調査結果について

#### (1) ジェネリック医薬品採用に関する重要度等アンケート調査の概要

福岡県では、県内基幹病院がジェネリック医薬品を採用する際に重要視していることを把握し、県内の医療機関、薬局がジェネリック医薬品採用時の判断基準の参考にすることを目的として「ジェネリック医薬品採用に関する重要度等アンケート調査」（以下「重要度等アンケート」という。）を実施し、その結果を令和2年3月に医療機関・薬局に配布した（当該アンケートの内容については、5ページに記載のURLを参照）。

## (2) アンケート結果

### ①重要度等アンケート調査結果の参考状況

重要度等アンケート調査結果の参考状況をみると、福岡県全体では、「アンケートは現時点では参考になっていないが、新規薬を採用する際など、今後機会があれば参考になると思う」が32.6%と最も多く、次いで「当薬局ではリストは直接参考にはならないが、アンケートが配布された意義はあると感じる」が26.4%、「アンケートが配布されたことを知らない・見ていない」が15.2%となった。

地域別にみると、北九州市では、「アンケートは現時点では参考になっていないが、新規薬を採用する際など、今後機会があれば参考になると思う」が32.5%と最も多く、次いで「当薬局ではリストは直接参考にはならないが、アンケートが配布された意義はあると感じる」が25.6%、「アンケートが配布されたことを知らない・見ていない」が16.1%となった。

また、福岡市では、「アンケートは現時点では参考になっていないが、新規薬を採用する際など、今後機会があれば参考になると思う」が34.2%と最も多く、次いで「当薬局ではリストは直接参考にはならないが、アンケートが配布された意義はあると感じる」が26.9%、「アンケートが配布されたことを知らない・見ていない」が15.9%となった。

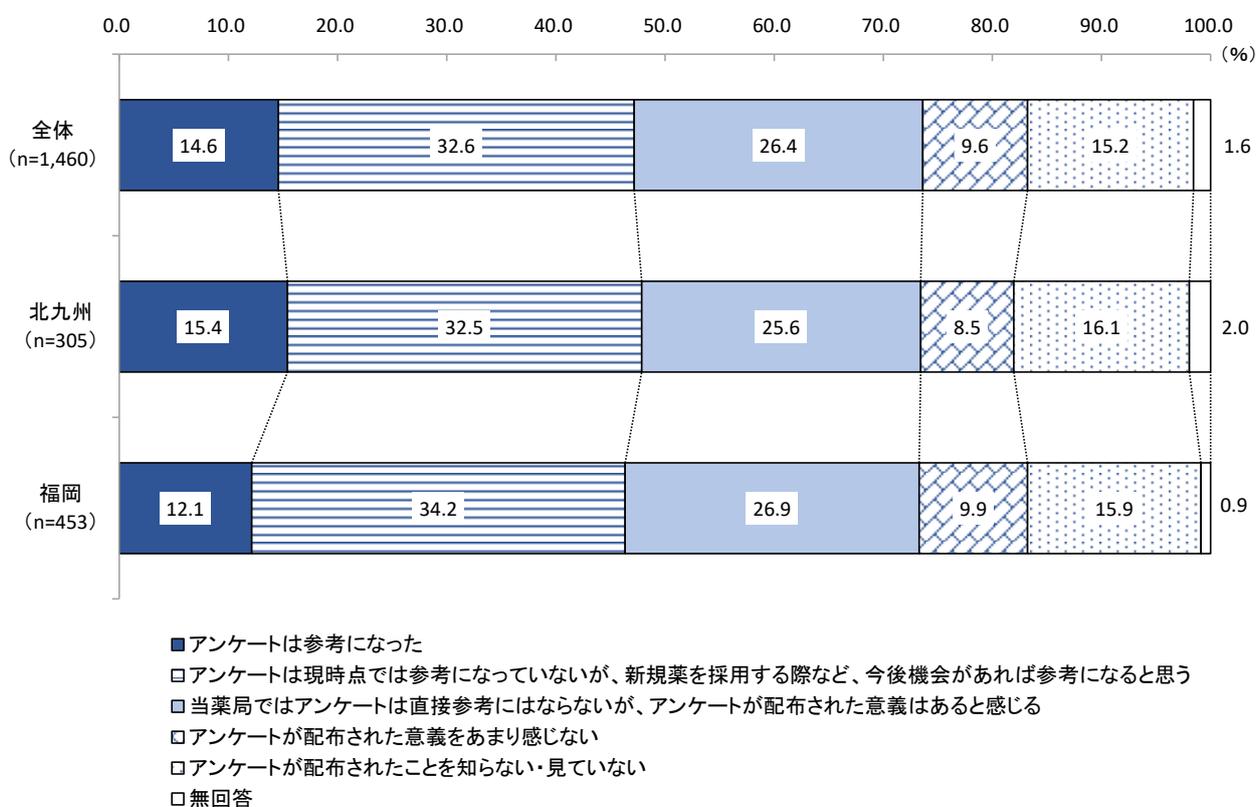


図6 重要度等アンケート調査結果の参考状況

## ②重要度等アンケート調査結果を参考とした事例・取組について

重要度アンケート調査結果を参考にした点についてみると、「採用・選定の基準の参考」が28件と最も多く、次いで「全般的な情報入手」が9件、「安定供給の大切さ」が4件となっています。

**表6 重要度等アンケート調査結果を参考とした事例・取組（内容分類別）**

No.	内容分類	回答数
1	採用・選定基準の参考	28
2	全般的な情報入手	9
3	安定供給の大切さ	4
4	メーカーの参考	2
5	患者への説明	2
6	その他	16
	総計	61

表7 重要度等アンケート調査結果を参考とした事例・取組一覧（薬剤師会別）

薬剤師会	アンケートを参考とした事例・取組
北九州市（門司）	出来るだけ供給が安定して情報も充実しているメーカーを選ぶ様にしている、病院の採用基準もほぼ同じだったので納得した 「ジェネリック採用にあたり重要視している内容」が大変参考になりました。採用にあたって多方面から考慮されていて、基幹病院採用リストの有用性を認識、新規採用や変更時に参考にしたいと思います。
北九州市（小倉）	複数メーカーから発売される際の選定基準にしたい 自店以外での採用基準、見方の違いなど参考となる どこのメーカーを採用しているか。 県内の基幹病院からの処方箋が来ることがあれば、このアンケート調査結果を用いて、患者様との話で採用を決めたいと思います たくさんのGEメーカーがあるので、安定供給を考えると、基幹病院で採用されている薬は卸も在庫を確保しているので発注してもすぐに商品が届くと思う。
北九州市（八幡）	採用の仕方をまねしている 採用件数の多い薬品を選ぶようにしている これからのジェネリック薬の採用時の参考になれば 新規採用薬の取入れの際の参考 19病院の結果は少ないと思います（データ量として）。安定供給の大事さは勉強になりました。 安定供給について 薬局によって状況は異なるため参考になりにくかった。 広域病院（基幹病院）と自局のジェネリックを同じにすることで在庫を抑える事ができる
福岡市	新たにジェネリック医薬品を採用する際の参考になった アンケート結果での上位の回答を当薬局でのジェネリック医薬品採用の基準として参考にさせてもらった。 採用基準の参考にします。 今後、ジェネリック採用時に参考にしたい。 採用するのに利用できた。 基幹病院採用品以外を採用する場合の査定項目の優先順位を参考に患者負担を考慮し、価格面を追加して検討する 各病院の採用状況が確認できる ジェネリックを採用する際に重視している点が概ね当薬局と相違なかったことが確認できた。 他薬局での取り組みなどが参考になった。 近隣の状況が掴めた 供給不足になった場合の他施設使用状況の把握のため 基幹病院がジェネリック医薬品を扱うにあたって、どういう点を重視しているのか理解できた。 新規採用時のジェネリックメーカーを決める際 GEは普及していることを患者様により伝えやすくなった。 福岡だけでなく全国で見ても良いのではないのでしょうか アンケート結果をどう翌年にいかしたか 【一般名】→OD錠に変更した 後発品の価格がAGは別として何段階かあるのはいかがなものでしょうか？ 一般名処方箋で発行させているものに関しては、なるべくジェネリック医薬品に変更するように心がける。 後発品をそろえる事で、過誤をなくし、備蓄も減らせる。 新しくジェネリックを採用する際の見積対象品目とした 流通の確認

薬剤師会	アンケートを参考とした事例・取組
柳川山門・大牟田	<p>基幹の大病院の医薬審議会で決まった結果だけ分かればよい            病院での採用判断基準を参考にすることができた。            薬局所在地で、どんなジェネリック医薬品が採用されているか知ることが出来て良かった。</p>
久留米三井・浮羽・大川三瀨	<p>当薬局での新規採用に於いてもアンケートの上位項目を参考に採用するようにしている            今後ジェネリックに変更する際に変更したい            ジェネリック医薬品への採用の意識向上となる            ジェネリック医薬品の選択する際の目安として            まだ見れていないが基幹病院の採用基準を参考に新規後発医薬品の採用をしていきたい            安定供給ができるジェネリックメーカーを第一に考えています            品切れが少ないジェネリック医薬品を選択する際に参考にしました。</p>
直方鞍手	<p>供給が安定していることは後発品採用に際して重要だと思った。あと外観が似ていること。患者様が違和感なくGEに変更できるか参考になった</p>
飯塚	<p>薬局の業務指針作成において採用薬の選択の考え方に参考とさせて頂いた</p>
田川	<p>医薬品採用基準</p>
八女筑後	<p>アンケートを参考にされた後どのように活用されているのか？</p>
京都	<p>データが少ないため何とも言えない。</p>
筑紫	<p>新しく後発薬を採用する時に参考にしています。</p>
宗像	<p>他の薬局の採用基準など参考になります            ジェネリック医薬品を採用する際に重視することにおいて、基幹病院では、「メーカーにおいて、不良品などのトラブル発生時に適切な措置を講じることができる」が73.7%と一番割合が高いのが、考えさせられ、今後の薬局での採用基準に必要なと思った            当薬局での採用条件とほぼ同じだったから。</p>
糸島	<p>GE医薬品を採用する際参考にした            同一品の採用</p>
-	<p>動向把握            病院それぞれで重視すべき項目を知ることで私たちも参考になります。患者さんからメーカー指定の要望がなければ、グループ会社内でよく出るメーカーに合わせて在庫することもあるので。</p>
-	<p>ジェネリック医薬品採用する基準において、価格優先・安定供給優先しがちだが、「不良品などのトラブル発生時に適切な措置を講じることができる」との項目が優先順位が一番高いことが参考になった</p>

③重要度等アンケート調査結果にて把握した情報について、および今後アンケートして欲しい内容についての意見

重要度アンケート等アンケートにて把握した情報や今後アンケートして欲しい内容についてみると、「採用・不採用理由の追加」が9件と最も多く、次いで「参考になった理由」「参考にならない理由」「患者の希望などの情報の追加」が3件となった

表8 重要度等アンケート調査結果についての意見（内容分類別）

No.	内容分類	回答数
1	採用・不採用理由の追加	9
2	参考になった理由	3
3	参考にならない理由	3
4	患者の希望などの情報の追加	3
5	流通情報の追加	2
6	一般名処方への推進	2
7	対象病院の追加	1
8	先発との比較情報の追加	1
9	患者啓発	1
10	推進への疑問	1
11	リスト	1
12	その他情報の追加	2
13	その他	8
	総計	37

表9 重要度等アンケートの情報についての意見（薬剤師会別）

薬剤師会	県内基幹病院等の現状について、今回、アンケートにて把握した情報や、今後、アンケートしてほしい内容についての意見
北九州市(門司)	ジェネリックが50%を超えている現在、何のプラスになるのか理解に苦しむ
北九州市(小倉)	メーカーによる自主回収における流通の問題の対策があれば助かる 一般名処方の推進として頂きたいです。先発品の適応違いを解消して統一してほしい。 基幹病院で1つの薬に対して1つのメーカーに統一して欲しい
北九州市(八幡)	バイオシミラーは先発も後発も関係ないと思うが積極的に採用しない理由は知りたいです チェーン店なら本部で推奨されたメーカーを使用するし、個々の薬局でも門前の医師が使いやすいメーカーの指定があったりしている。納入価が安かったり、安定供給などで選んでいる薬局が大半なので、あまりこういったアンケートは参考にならない気がします。 採用するうえで当然考慮することが書いてあるだけ。薬局の実情からどの点を重視すべきかは異なるので優先順位は薬局毎で判断すればよい。どうやって決めたらよいかわからない新人薬剤師には良いと思うが、先にジェネリック採用の権限はないと思う。 回収された薬品の名称と会社名をまとめて報告してほしい。不良品の多い製薬会社を把握したい。
福岡市	ジェネリックの品質として妥当と認められないものをピックアップしてほしい もっと具体的な事例を。この薬剤のここにアドバンスを感じて採用など A Gがあっても他のメーカーを選ぶ理由 院外処方に関わる薬局に対しての、ジェネリック医薬品の採用・使用、患者指導で求めることなどのアンケートを知りたい。 アンケート内容について希望：院外処方で一般名処方にしない理由。銘柄指定の場合、理由を備考欄に記入ができるか検討してほしい。 他薬局での改善点など参考にしたい。 基本的に会社で統一のメーカーを使用するため、アンケートを重視してないです。 他Phで一方的にGEを出された、といわれたことがある。どの程度患者に希望を聞いているのか知りたい。 テープタイプなど、外用剤の、患者からの情報 先発品とGE医薬品の使用比較の情報があれば助かります。 もっとちゃんと患者さんにジェネリックの話をして欲しい。 先発名メーカーを先に表示・一般名メーカーを、採用数の順が採用されるメーカー選択しやすい。 保険請求時どのような処方箋がカットされるのか知りたいです 病院が銘柄指定した後発医薬品を、薬局が別メーカーの後発医薬品に変更することをどう思うかアンケートで確認してほしい。 価格のつけ方がわかりません。 GEメーカー指定で変更不可の品目を指定している病院に対してそうしている理由の詳細を求めて欲しい
飯塚	後発品への処方変更後に起こった不都合な事案や経営収益の差などがあれば嬉しいです。 最近、自主回収、品薄などが多い それに伴う、出荷調整で入手困難になるが メーカーにより情報提供に差がある
田川	実際、ジェネリックがこれだけ多くなってきており、間違いの元になることもある。その点何か良いアイデアはないですか？
八女筑後	アンケートする基幹病院を増やしてほしい
豊前築上	ジェネリック医薬品に対し重視する事が参考になった。 後発変更して次回嫌がった患者さんの理由等
筑紫	アンケートはむしろ医療機関に対して行った方がジェネリック医薬品の推進になると思う 基幹病院としての考えが、わかり、薬局での採用基準に参考になる
宗像	なぜ採用したかの理由をもっと充実すると良い 変更不可処方処方をする際のこだわり
糸島	ある都市のアンケート結果の結果を見たとき回答率が少し低いように感じました。ジェネリック変更の必要性をもっと自分たちが自覚しないといけないと思いました。
-	一般名処方思ったより少なかったです。もっと積極的に取り入れてほしいです。基礎的医薬品の銘柄指定処方の疑義が煩わしいです。 院内規定の有無に「品切れが発生していない」という項目を採用されている施設が半数を占めていることに、共感した。マスクや医薬品などの自国安定供給体制の確立を望む。

#### 4. 福岡県ジェネリック医薬品ガイドブックについて

##### (1) 福岡県ジェネリック医薬品ガイドブックの概要

福岡県では、医療機関・薬局等がジェネリック医薬品の普及促進のため、ジェネリック医薬品の普及メリットや普及状況、ジェネリック医薬品の動向などをまとめた「福岡県ジェネリック医薬品ガイドブック」（以下「ガイドブック」という。）を作成し、令和2年3月に医療機関及び薬局に配布した。

【URL】 <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/108702.pdf>

【QRコード】



【ガイドブックのイメージ】



## (2) アンケート結果

### ①ガイドブックの参考状況

ガイドブックの参考状況をみると、福岡県全体では、「当薬局ではガイドブックは直接参考にはならないが、ガイドブックが配布された意義はあると感じる」が45.3%と最も多く、次いで「ガイドブックは参考になった」が24.2%、「ガイドブックが配布されたことを知らない・見ていない」が18.4%となった。

地域別にみると、北九州市では、「当薬局ではガイドブックは直接参考にはならないが、ガイドブックが配布された意義はあると感じる」が47.2%と最も多く、次いで「ガイドブックは参考になった」が25.6%、「ガイドブックが配布されたことを知らない・見ていない」が14.8%となった。

また、福岡市では、「当薬局ではガイドブックは直接参考にはならないが、ガイドブックが配布された意義はあると感じる」が45.7%と最も多く、次いで「ガイドブックは参考になった」が21.4%、「ガイドブックが配布されたことを知らない・見ていない」が19.2%となった。

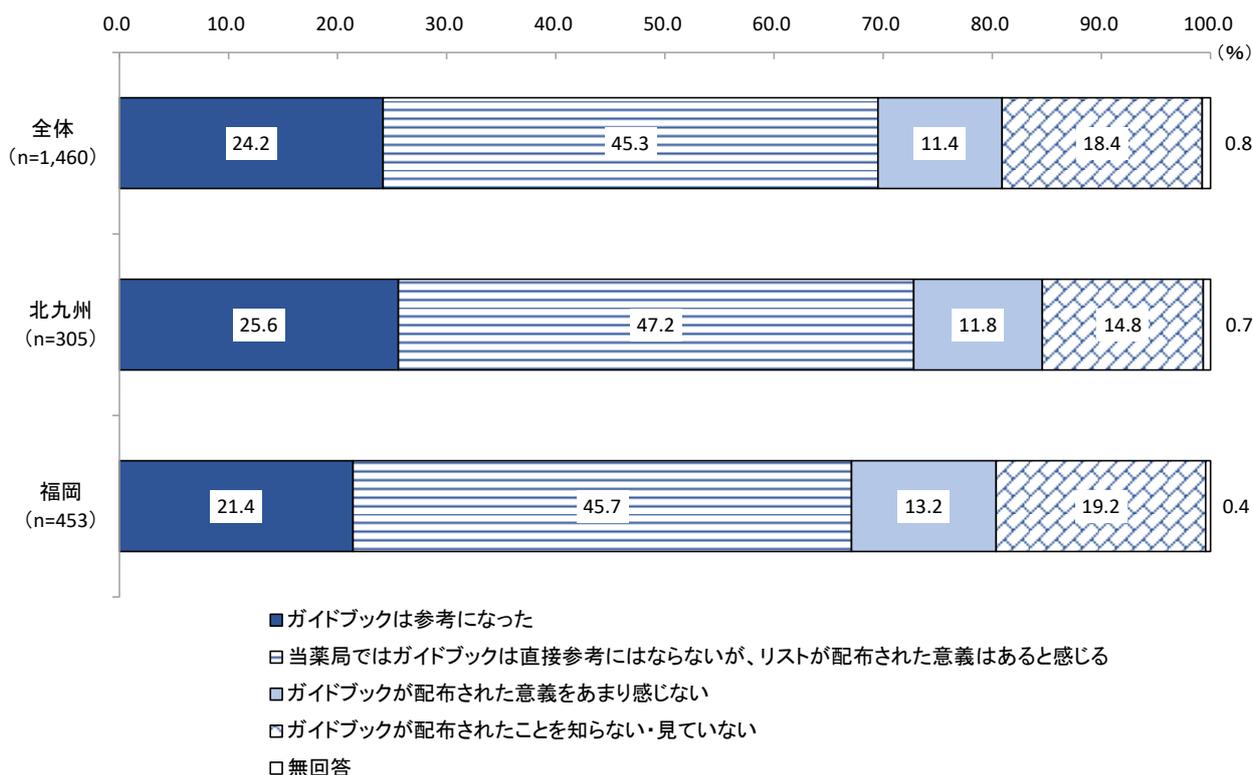


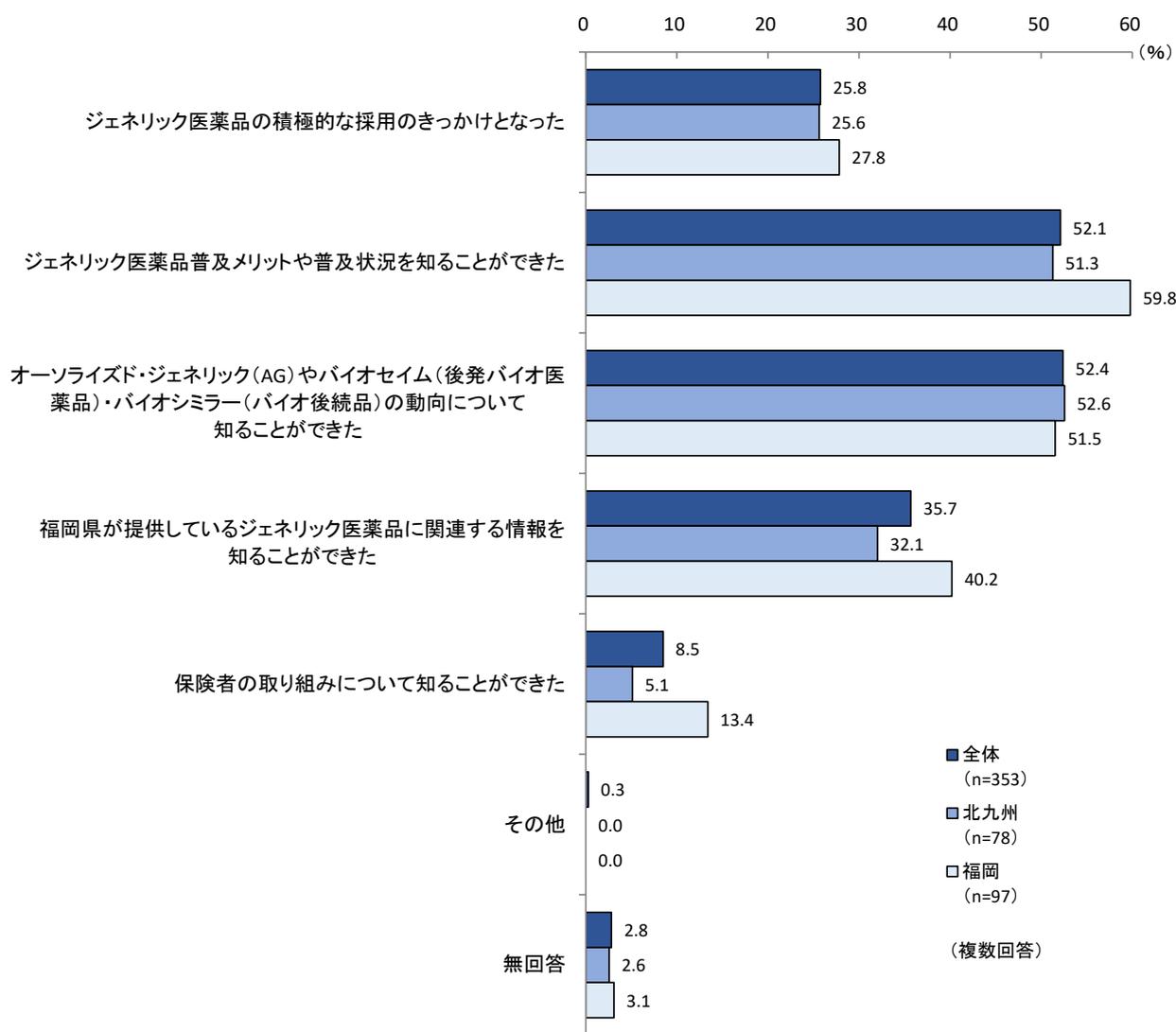
図7 ガイドブックの参考状況

## ②ガイドブックが参考になった点

ガイドブックがどのような点で参考になったかをみると、福岡県全体では、「オーソライズド・ジェネリック（AG）やバイオセიმ（後発バイオ医薬品）・バイオシミラー（バイオ後続品）の動向について知ることができた」が52.4%と最も多く、次いで「ジェネリック医薬品普及メリットや普及状況を知ることができた」52.1%、「福岡県が提供しているジェネリック医薬品に関連する情報を知ることができた」が35.7%となった。

地域別にみると、北九州市では、「オーソライズド・ジェネリック（AG）やバイオセიმ（後発バイオ医薬品）・バイオシミラー（バイオ後続品）の動向について知ることができた」が52.6%と最も多く、次いで「ジェネリック医薬品普及メリットや普及状況を知ることができた」51.3%、「福岡県が提供しているジェネリック医薬品に関連する情報を知ることができた」が32.1%となった。

また、福岡市では、「ジェネリック医薬品普及メリットや普及状況を知ることができた」が59.8%と最も多く、次いで「オーソライズド・ジェネリック（AG）やバイオセिम（後発バイオ医薬品）・バイオシミラー（バイオ後続品）の動向について知ることができた」が51.5%、「福岡県が提供しているジェネリック医薬品に関連する情報を知ることができた」が40.2%となった。



その他の内容
今後参考にしたい
講演活動の資料作成などの参考にしようと考えている。

図8 ガイドブックが参考になった点

### ③ガイドブックが参考にならなかった点

ガイドブックがどのような点で参考にならなかったかをみると、福岡県全体では、「すでに積極的にジェネリック医薬品を採用しており、ガイドブックを参考にする必要がないから」が78.0%と最も多く、次いで「すでに知っている情報だったから」13.9%、「ジェネリック医薬品の採用に積極的でないから」が2.8%となった。

地域別にみると、北九州市では、「すでに積極的にジェネリック医薬品を採用しており、ガイドブックを参考にする必要がないから」が74.4%と最も多く、次いで「すでに知っている情報だったから」12.2%、「ジェネリック医薬品の採用に積極的でないから」が2.2%となった。

また、福岡市では、「すでに積極的にジェネリック医薬品を採用しており、ガイドブックを参考にする必要がないから」が74.9%と最も多く、次いで「すでに知っている情報だったから」16.1%、「ジェネリック医薬品の採用に積極的でないから」が2.2%となった。

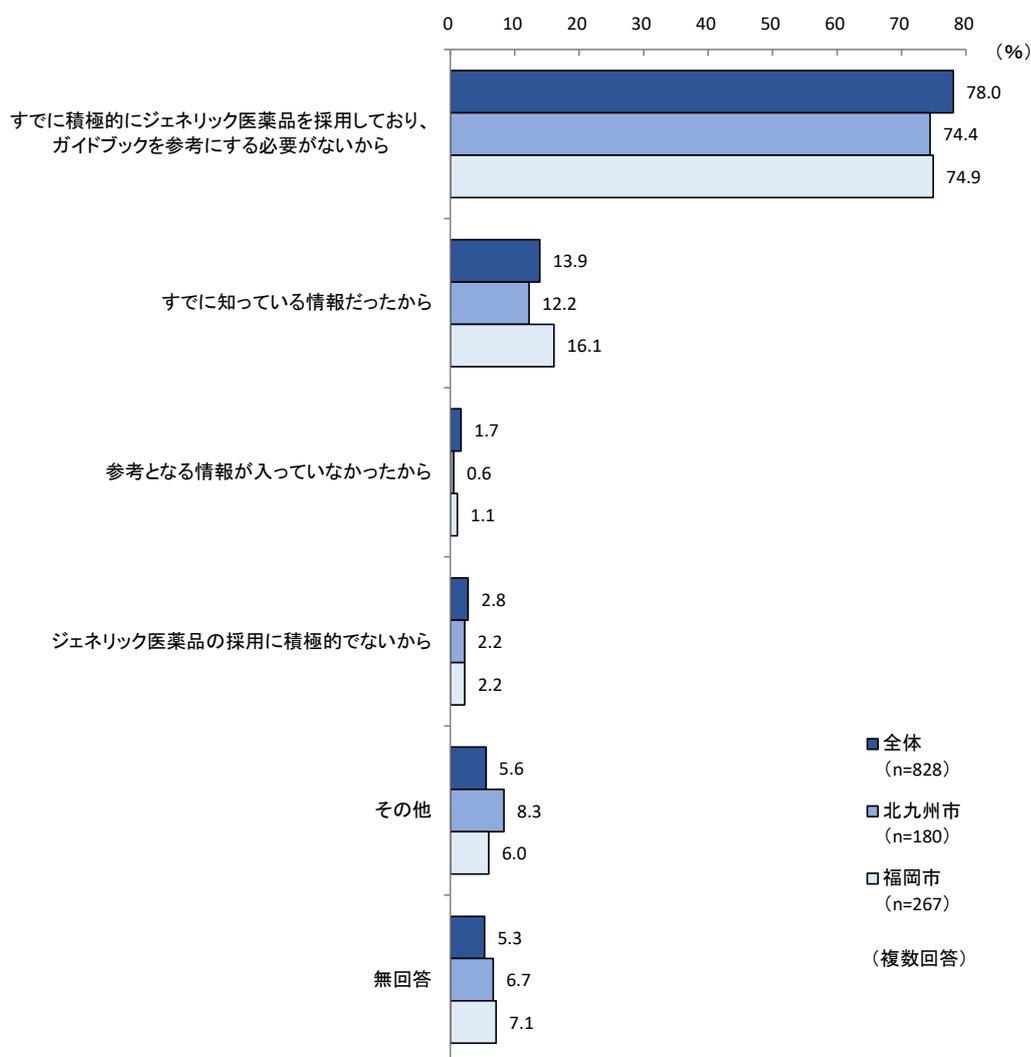


図9 ガイドブックが参考にならなかった点

ガイドブックが参考にならなかった点のその他をみると、「会社の意向」が14件と最も多く、次いで「医師・病院の意向」が9件、「独自の判断」が6件となった。

表10 ガイドブックが参考にならなかった点（自由記入）

【知りたい情報の種類】

薬剤師会	「参考となる情報が入っていなかったから」と答えた方が知りたい情報の種類
福岡市	安定供給や持続的供給ができるかどうか それぞれのジェネリック薬についての詳細な情報「アドバイス」「回収事例」「原薬メーカーの情報」など。
柳川山門・大牟田	数～数十社のメーカーで違いが分からない。情報がなすすぎる。
飯塚	在庫切れを起こさないメーカー
筑紫	新規採用 総合病院が採用してるリストではなかったから
-	納入価の情報が知りたいです。というのも、当薬局では既に後発体制加算3を取得しているため、それ以上無理に後発品を増やすと単価が下がって赤字になり経営が厳しくなります。無理なく導入できる、先発と比べて赤字額が少ない後発品が一覧で分かれば良いのですが。

【その他 内容分類】

No.	内容分類	回答数
1	会社の意向	14
2	医師・病院の意向	9
3	独自の判断	6
4	AGを積極的に採用している	3
5	配布への意見	1
6	その他	10
	総計	43

## 【その他 自由記入】

薬剤師会	その他の内容
北九州市	GE銘柄を指定する病院がある 当薬局独自の採用基準があるため
北九州市(若松)	処方Drとの話し合い等がある 今日の治療薬などの冊子を使い慣れている。しかし、ガイドブックを参考にしようになると思う。
北九州市(戸畑)	必要とする処方箋を受けたことがない。
北九州市(小倉)	社内推奨品より採用薬を決めている為
	医師がジェネリック医薬品の採用に積極的でない
	独自の判断でGE品を採用している為
	AGは積極的に採用している
北九州市(八幡)	オーソライズド優先ルールで処方医が採用を決めている
	会社の意向によるため
	会社で採用を統一しているから
	医師、近隣の薬局などと話をしてGEをどのメーカーにするか話をするため
福岡市	門前の医院が変更不可で出すため
	会社で統一してメーカーを決めている
	会社で推進するジェネリックを採用している
	ジェネリックの採用は本社に一任のため、店舗での判断が不要のため
	同一ジェネリック医薬品を採用した方がグループ薬局で移動しやすいため、参考にはできなかった。
	門前Dr.が積極的でないため
	今も変更不可としている医療機関に訴求性がないから。
	紙媒体の配布はなくて良いと思います
	処方箋が来ていないため
	大きな薬局は仕入れ値が安いという基準で採用を決めているのが実体なので現状のアンケート、ガイドブックでは不信感が拭えない
	GE採用担当者がいらっしやるため直接関わりがない
グループの採用薬以外必要であれば参考にしたい	
医療機関別のリストではないため	
説明が曖昧なので患者、Drに説明がしっかりできない。	
久留米三井・浮羽・大川三瀬	会社が指定することがあるから
	本社の方でジェネリック推奨品を送られてくるため。 主に処方箋が来る医院の処方箋が、すべて変更不可になっている為
飯塚	会社の方針でジェネリックを選定している為
田川	メーカー、卸のアナウンスで充分足りません。メーカー、卸が参考にしていれば意義を感じます
八女筑後	オーソライズドジェネリックを採用したい
	選定基準を視認性としているため
京都	回収などがあまりにも多かったため
遠賀中間	チェーン薬局の為、採用メーカーは本社が決めているから
筑紫	会社で統一してメーカーを決めている推奨品があるため
	GEを採用する際、取引のある卸が持ってきやすいメーカーである事、薬価、他店舗とメーカーを合わせてデッドストックにならないようにするなどを考慮してメーカーを決めているため
宗像	本家で採用薬を決めているから
粕屋	結局自社の採用を推進する事が多いため
糸島	門前施設のDrの処方傾向に左右されることがある
	会社で推奨メーカーが決まっている為 独自の判断で採用

#### ④ガイドブックを参考とした事例・取組について

ガイドブックを参考した事例・取組をみると、「患者への説明」が5件と最も多く、次いで「上位リスト」が4件となった。

表 11 ガイドブックを参考とした事例・取組（内容分類別）

No.	内容分類	回答数
1	患者への説明	5
2	上位リスト	4
3	採用時・切替時の参考	2
4	AG	2
5	要望	2
6	積極的な変更	1
7	リスト	1
8	参考とならない理由	1
9	その他	6
	総計	24

表 12 ガイドブックを参考とした事例・取組一覧（薬剤師会別）

薬剤師会	ガイドブックを参考とした事例・取組
北九州市(門司)	①75才以上の医療費が依然として高いこと②現役世代に比べジェネリック割合が低いことがグラフでよくわかりました。高齢の方にジェネリック使用をより積極的に協力頂けるよう説明しなければならないと思いました
北九州市(小倉)	ジェネリックを更に推進させるためには、ジェネリック医薬品についてAGIについてより詳しく説明する事で患者様も納得して安心して服用されるので取り組みたいと思います
北九州市(八幡)	新規採用する時は必ずガイドブックを参考にしている なるべく今までと同じメーカーで投与 年齢の幅に差はあるけどジェネリックがいいと言う患者さんが増えた事はうれしいです。
福岡市	患者さまにジェネリックについて説明する際の情報として役立っている 福岡県ジェネリック使用量上位品目リスト 採用側の状況ではなく、後発品メーカー、薬剤の情報が欲しい。例えばOD錠であれば味の違いとか、一包装の可否とか。メーカーによる違い特色を比較しているもの等は採用にあたり役に立つと考えられる GEへの積極的な変更 一度入ると変えるのが大変であり、情報の内容の薄さが判断するのが難しい グループ薬局で推奨ジェネリックを示される
柳川山門・大牟田	患者さんにジェネリック医薬品をすすめやすくなった 福岡県ジェネリック医薬品使用量上位品目リストは新規採用時に参考にした
久留米三井・浮羽・大川三瀬	採用が多いものを採用 【先発品名】の適用について
飯塚	患者様の不安をなくすためなるべく流通している後発医薬品を採用したい
京都	最寄の総合病院の採用品目（GCE）がわかるので対応しやすい
豊前築上	後発薬を採用する際、AGの情報などは参考になります
遠賀中間	患者様に進める時の知識アップになる
筑紫	各社の安全性評価や採用施設数を今回初めて確認したので参考にしたいと思います
粕屋	患者への説明がしやすくなった AGもAG1、AG2、AG3と細かく表示して欲しいです
糸島	オーソライズドジェネリックは患者さんも安心して服用できると言われる。高齢になると見た目が変わるだけで不安になる方も多い。
糸島	ジェネリック医薬品使用量上位品目リストは拝見したことなかったのですが、決める際に参考にさせて頂きたいです。

### ⑤ガイドブックに関する改善要望や意見

ガイドブックの改善要望や意見をみると、「対象病院の追加（リスト）」「科学的情報の追加」「活用方法への意見」「AGの詳細情報の追加」が2件となった。

表 13 ガイドブックについての意見（内容分類別）

No.	内容分類	回答数
1	対象病院の追加（リスト）	2
2	科学的情報の追加	2
3	活用方法への意見	2
4	AGの詳細情報の追加	2
5	市町村別情報の追加	1
6	変更不可病院情報の追加	1
7	価格情報の追加	1
8	情報の追加	1
9	採用理由情報の追加	1
10	行政への意見	1
11	アンケートへの意見	1
12	不要な理由	1
13	その他	6
	総計	22

表 14 ガイドブックについての意見（自由記入）

薬剤師会	ガイドブックに関する改善要望やその他意見
北九州市(小倉)	ジェネリックに投薬を切り替えることが重要であれば、行政の強い指導で行えばよいと思う
北九州市(八幡)	より多くの病院の掲載によってもっと充実した内容になると思います。 医師・薬剤師向けのガイドブックであれば内容が簡単すぎると思います。添加物の違いによる生物学的同等性に変化はないのか、先発品と適応が異なるものなどもう少し深い内容のほうが良いなと思いました。 今後も普及状況について情報を更新して発信頂きたいです
福岡市	添加物などの違いなども掲載してほしい。 AGの記載をもっと目立つようにしてほしい。ジェネリック薬の存在は知っていても、AGの存在は知らない患者様が多い為。 後発品への変更不可の病院名を公表して欲しい もう少し量を増やして欲しい 各医薬品で採用した理由がわかれば、参考にしたい。例、小さくて飲みやすい、メントール味で患者が喜ぶなど。 アンケート採集の時期が期間を空けすぎているように感じる。配布後2～3ヵ月で調査を始めて欲しい。もらった後の感覚が薄れています。 ジェネリックについてわかりやすくまとめてあり、患者への説明の際にも使用できるのではないかと思います。 個別購入させてほしい
飯塚	ジェネリック医薬品はかなり普及しており、採用基準に関しても薬局独自の考え方があると思うので、ガイドブックの必要がなくなって来ていると思う。
豊前築上	読みやすく参考になりました。
筑紫	総合病院が採用してるリストがよい ジェネリックに対して抵抗のあるのはご年配の方が多いと感じています。ガイドブックの内容を回覧板等に挟み、回して閲覧して頂くと良いと思います。
粕屋	AG1、AG2、AG3をわかりやすく説明してほしいです。AG3はもはやAGではないのではないかと考えています・ 医療機関だけでなくもっと患者の手元へ届くようになれば良いかと思う
朝倉	ガイドブックに掲載されていないメーカーの製品との区別、兼ね合いは、どう判断すれば良いのか。例えば、多くの施設に使用されているとかetc。基本的に薬価収載されている製品は、どれを選んでも良いのではないのでしょうか？製品によっては市場規模が小さいとかはあると思いますが。
糸島	ネット検索で情報は得ている こちらは糸島市にあるため市内別のリストがあったら参考にさらにしやすそうかなと思います。
—	Q17にも書きました。納入価の情報が知りたいです。というのも、当薬局では既に後発体制加算3を取得しているため、それ以上無理に後発品を増やすと単価が下がって赤字になり経営が厳しくなります。無理なく導入できる、先発と比べて赤字額が少ない後発品が一覧で分かれば良いのですが。

## 5. ジェネリック医薬品の使用状況など

### (1) ジェネリック医薬品の採用に対する姿勢

ジェネリック医薬品の採用に積極的かどうかを尋ねたところ、福岡県全体では「はい」が88.7%、「いいえ」が1.2%、「どちらとも言えない」が9.1%となった。

地域別にみると、北九州市では、「はい」が90.8%、「いいえ」が0.7%、「どちらとも言えない」が7.5%となった。

また、福岡市では、「はい」が88.1%、「いいえ」が1.5%、「どちらとも言えない」が9.7%となった。

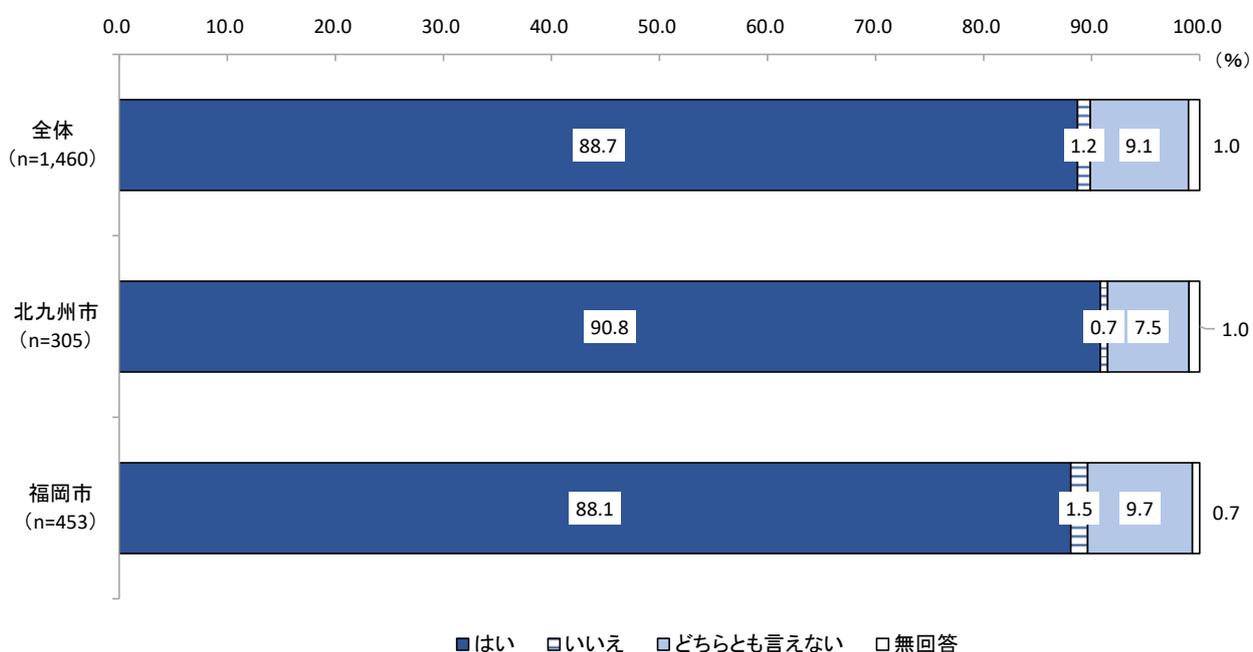


図 10 ジェネリック医薬品の採用に積極的かどうか

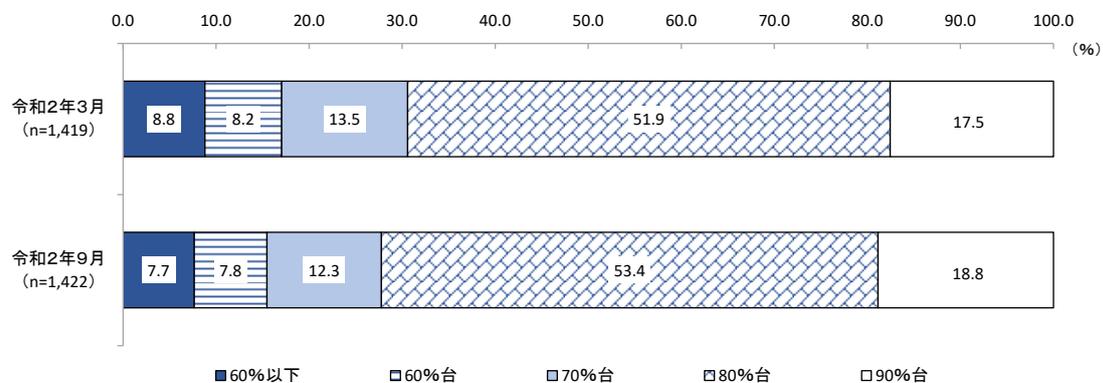
## (2) ジェネリック医薬品使用率

ジェネリック医薬品使用率（数量ベース、新指標）についてみると、福岡県全体では、令和2年3月現在と比べ同年9月現在の使用率が「80%台」の薬局が 51.9%→53.4%、「90%台」が 17.5%→18.8%と増加している。使用率 80%以上をみると、2.8ポイントの増加（69.4%→72.2%）となった。

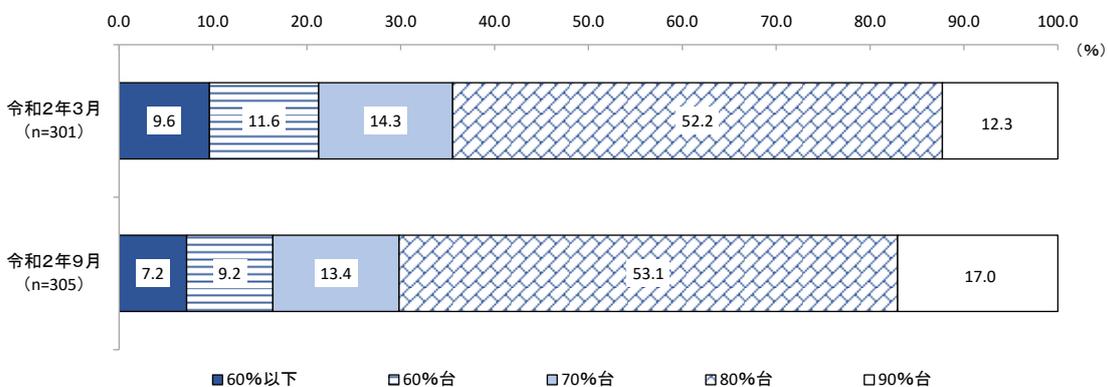
地域別にみると、北九州市では、「80%台」が 52.2%→53.1%、「90%台」が 12.3%→17.0%と増加している。使用率 80%以上をみると、5.6ポイントの増加（64.5%→70.1%）となった。

また、福岡市では、「80%台」が 48.5%→50.3%、「90%台」が 15.3%→16.9%と増加している。使用率 80%以上をみると、3.4ポイントの増加（63.8%→67.2%）となった。

### 【福岡県全体】



### 【北九州市】



### 【福岡市】

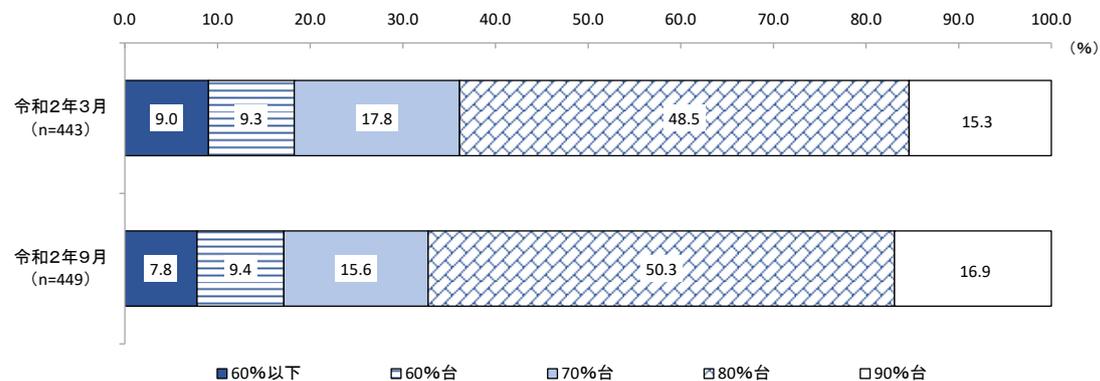


図 11 ジェネリック医薬品使用率（数量ベース、新指標）

### (3) 全医薬品品目数に占めるジェネリック医薬品の割合

薬局において取り扱っている全医薬品品目数に占めるジェネリック医薬品の割合をみると、福岡県全体では、「30～40%台」の薬局が56.4%と最も多く、次いで「0～30%台」が21.0%、「50～60%台」が13.7%となった。

地域別にみると、北九州市では、「30～40%台」が54.4%と最も多く、次いで「0～30%台」が21.9%、「50～60%台」が14.2%となった。

また、福岡市では、「30～40%台」が55.6%と最も多く、次いで「0～30%台」が23.5%、「50～60%台」が12.9%となった。

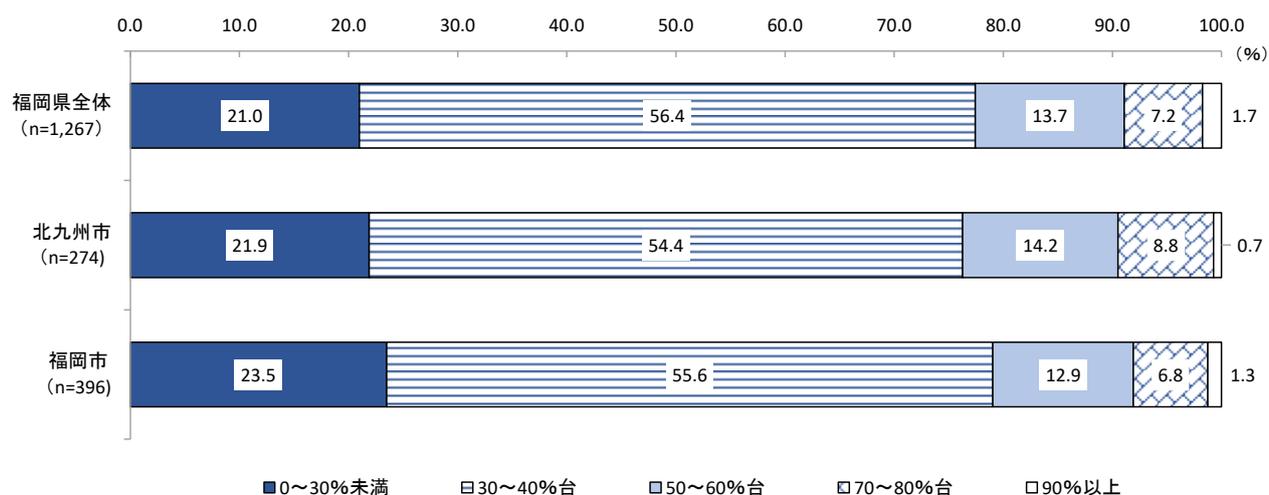


図 12 全医薬品品目数に占めるジェネリック医薬品の割合

#### (4) 先発医薬品からの変更不可の応需処方箋の割合

応需処方箋のうち、先発医薬品からの変更不可が1つでもある処方箋の割合についてみると、福岡県全体では、「およそ1/4以下」の薬局が84.2%と最も多く、次いで「1/4から1/2程度」が5.8%となっている。

なお、北九州市では、「およそ1/4以下」が83.9%と最も多く、次いで「1/4から1/2程度」が7.5%となっている。

また、福岡市では、「およそ1/4以下」が83.7%と最も多く、次いで「1/4から1/2程度」が6.2%となっている。

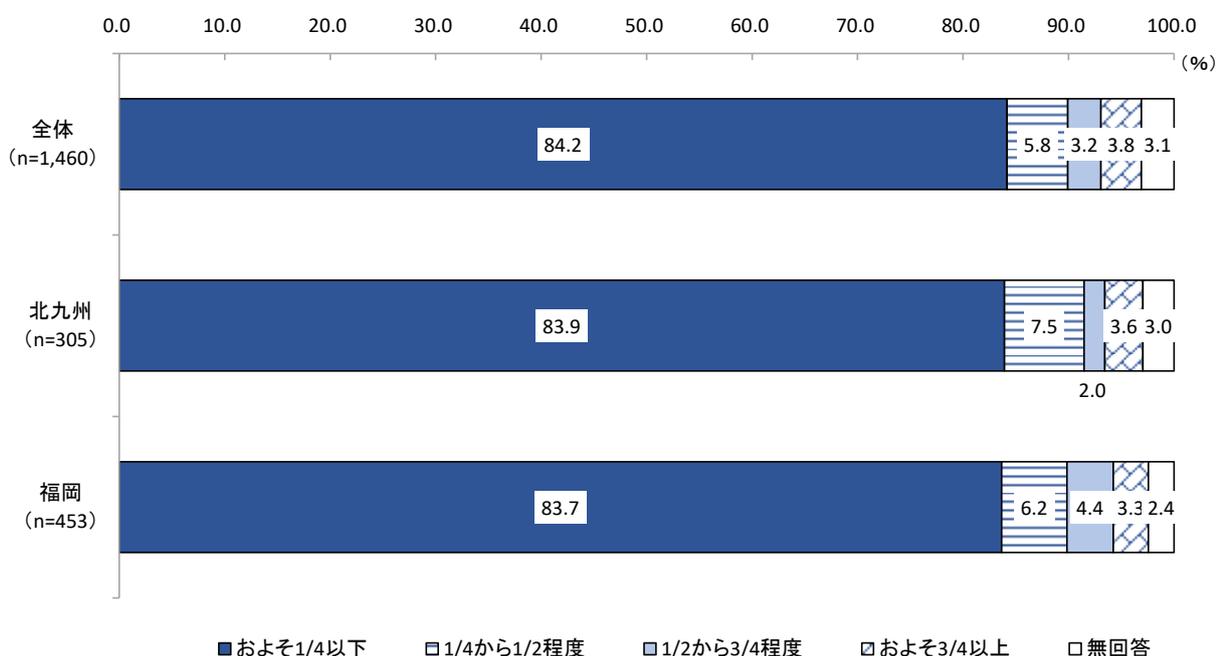


図 13 先発医薬品からの変更不可の応需処方箋の割合

(5) ジェネリック医薬品を採用していない事例について

ジェネリック医薬品を採用しない理由をみると、「患者の希望」が281件と最も多く、次いで「医師の意向」が180件、「製造中止・供給不安」が124件となった。

表 15 ジェネリック医薬品を採用医薬品名及び採用しない理由（内容分類別）

No.	内容分類	回答数
1	患者の希望	281
2	医師の意向	180
3	製造中止・供給不安	124
4	使用が少ない	88
5	薬価差など	71
6	効果・使用感	60
7	規格、形状	37
8	外用剤の使用感	37
9	GEなし	17
10	副作用	14
11	AG採用のため	10
12	TDM	9
13	適応の違い	8
14	名前・見た目の変更を避ける	7
15	会社の意向	6
16	添加物	5
17	知名度	4
18	在庫管理	2
19	品質	2
20	薬品名	2
21	使用実績・エビデンス不足	2
22	適応症	1
23	メーカー対応	1
24	周囲の情報不足	1
25	その他	45
26	—	14
	総計	1,028

(6) ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案

ジェネリック医薬品使用促進にあたっての課題や提案をみると、「患者の理解促進」が116件と最も多く、次いで「変更不可への対応」が94件、「安定供給」が92件となった。

表 16 ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案（内容分類別）

No.	内容分類	回答数
1	患者の理解促進	116
2	変更不可への対応	94
3	安定供給	92
4	医師・病院の理解	47
5	一般名処方の採用	22
6	薬価制度	17
7	AGの増加	14
8	効能・使用感・副作用	12
9	イメージ向上	9
10	在庫増	6
11	メーカー対応	4
12	基剤・形状	4
13	課題なし	3
14	適応症が異なる	3
15	エビデンス・差異の表示、情報開示	3
16	積極採用	2
17	薬剤師の権限向上	2
18	薬品名	2
19	行政からの働きかけ	2
20	保険者からの働きかけ	1
21	その他	18
	総計	473

表 17 ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案（薬剤師会別）

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
北九州市	<p>後期高齢者の窓口負担を現行の1割から2割に引き上げるべきである。安価だから安易に受診→安易に薬(特に先発品)を欲しがるとの傾向大。若年層のように(若い世代は多忙で受診する機会も限られる)セルフメディケーションという考えは全くなし</p> <p>cmなどで具体的にどれくらい安くなるか例示する</p> <p>医師のGE×の項目をやめてほしい、これがあるとGE推進にはならない</p> <p>変更不可</p> <p>安定供給できる製品だけ発売していただきたい。ここ最近、コンプライアンス不良で供給が停止される薬が多く代わりの後発品は手に入らないことがある。しかたなく先発品にもどすが、またいつかこんなことがあるかと思うと後発にもどしにくい</p> <p>まず、Dr. を指導して患者と薬局での取り決めとして推進すべき。GEは×！というDr. が多い。それなのに、後発率を上げるといのはあまりに困難です。</p> <p>医師がもう少し後発品の推進をしていけば使用促進につながるのではないかな？</p> <p>基幹病院(総合病院)においてGEの銘柄指定をするのをやめて、一般名処方にして欲しい。当薬局採用のGEの薬価が高い場合使えないので普及しにくいと思います。</p> <p>外用薬は似て非なりが多く、とても一緒ですとは言えない</p>
北九州市(門司)	<p>高齢者が嫌がるので支払いが高額になると推進化すると思われる</p> <p>できるだけジェネリックをとしますが患者様からのご希望が先発品が多く(循環器専門の方は特に)、又、後発品がまだ出ない薬品の比率の処方量も多いのでどうしてもジェネリック使用率も低いようです。なるべくお薬代も安くなるし安全安心なジェネリックを選んで患者様にと考えております。</p> <p>小児は薬代が無料の方が多い。後発品を勧めにくい</p> <p>GE変更不可の処方を出す際の条件をより厳しくして頂きたいです</p> <p>先発医薬品から変更不可を多用するクリニック</p> <p>後発医薬品変更不可の欄が無くなれば、さらに普及する</p> <p>メーカー欠陥品や販売中止が多くなってきたように感じる。安定供給を望む</p> <p>最近後発品メーカーによる安定供給ができていないケースがあります。患者様に迷惑がかかっております</p> <p>ジェネリックメーカーの安定供給、突然の販売中止をやめて頂きたい。</p> <p>当薬局では90%を超えているので特に問題なし</p> <p>特にないです。患者様の希望であれば全てジェネリックです。もちろん生活保護の方は全てジェネリックです。</p> <p>処方せん記載ルールを変更し、全ての医薬品に対してジェネリックが調剤できればジェネリック医薬品使用率が上昇する可能性があります。</p>
北九州市(若松)	<p>患者からの同意を得ること</p> <p>以前、ジェネリックを使って何かあった方は、いくら AGを勧めても嫌がる。</p> <p>変更不可処方箋の発行医に対し、ペナルティを加算する対応やGE変更不可の処方箋も同様に対応してほしい</p> <p>①保険医による「変更不可」の場合、その理由を保険医に書いて欲しい②AG処方の時は「変更不可」の場合も全く同じものなので変更して良いようにしてほしい</p> <p>ジェネリック促進はおかしい(お金がないから安いものとは)ジェネリックの外用薬等は採算がとれないといいて、中止が多いのでこまる。</p> <p>先発メーカーには、積極的にAGを作ってもらえると助かります</p>
北九州市(戸畑)	<p>先発品希望患者の保険負担割増し</p> <p>品質保持と安定供給</p> <p>医師側をもう少し指導すべき</p> <p>今後もジェネリック医薬品の普及を推進するなら処方医の普及推進をすべき！</p> <p>テープや湿布類は使い心地が異なるようで、GEに変更しても先発に戻してくれという例が多いので、外用についても使用感という点で工夫してジェネリックを作って欲しい</p> <p>メーカーの都合でパーセントが下がるのは納得いかない。</p>

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
北九州市(小倉)	先発品を希望するPtには薬価+でお金をとれば、GEに変更する人は出てくると思う。薬局では限界です。
	病院の明細が先発名で、薬局で後発に変更したら、違う薬ではないかと、問い合わせがたまにあります。
	高齢者の多くが変えたがらない
	患者さんに対する安全性の周知とジェネリック医薬品の供給体制の充実、AGを増やすこと
	先発品を良い薬など思い込んでいる患者様、医師が多いこと。負担金がなければ先発品を頂く方が得だと思っ
	ている方が多いこと。健康保険制度を守ることが大切というピーアール活動する
	患者さんに2度、3度ジェネリックについて説明すると嫌な顔をされり。
	先発品にこだわっている患者さんはAG以外はGEに変えない
	公費障害のあり自己負担のない方は、金額が発生しないため後発品へ変更したがず 医療従事者医師看護師事務
	員が自身の処方に関して後発品へ変更を拒否するケースがあり
	ジェネリック推進すると先発希望患者は他の薬局に行ってしまう。患者が減ってもジェネリック推進頑
	張ってるので 国のジェネリック使用率が目標値に達した後に はしごを外したかのように後発品加算を無く
	さないで頂きたいです！
	一部負担金だと差が小さいので気持ちが乗らない
	患者さんへ根気強くGEへの説明
	患者教育を政府でして下さい（医療制度について国民に理解をする様してください）。先発品希望は差額負
	担
	先発品にのみこだわりのある患者への理解
	ジェネリックという名称のせいか高齢者にはなかなか理解してもらえないことがある
	高齢者や小さな子供さんを抱える母親には抵抗がある様子。ジェネリックは安いからと言って粗悪品ではな
	くよりいいものになっているということを知ってほしい。
	ジェネリック医薬品メーカー指定で処方された時、他のメーカーならすぐに準備できるが、そのメーカーの
	薬価が高い時に困る
	変更不可、患者の同意がなくなればGEの使用促進になるのではないかと思います。
	薬局でジェネリックを勧めても支払いが変わらないため、公費負担患者は先発品を希望する割合が高い。「変
	更不可」を除き強制的にジェネリック変更できるような法改正をお願いしたい
変更不可をなくす	
ジェネリック医薬品を使用していても、しばらくするとメーカーがメーカーの都合で製造を中止することが	
ある、湿布においては先発医薬品の評判が圧倒的によい	
他メーカーによる突発製造中止などがあると今まで取り扱いの製品が入荷できなくなることが多々ある、安	
定した薬品の流通をお願いしたい。	
安定供給	
メーカー事情等により安定供給出来ない薬が多くある。自主回収、販売中止となる薬が多くあり困る。ジェ	
ネリックを拒否される患者さんが一定数いる（負担割合が少ない方に多い傾向）	
安定供給だけです。最近供給停止、急な販売中止が多すぎる、どこのメーカーが安定供給できるかわからな	
い	
後発メーカーが多すぎる！（一品目に対する後発数が多すぎる！）	
品質と安定供給	
安定供給・小包装の充実化・低薬価医薬品の薬価基準をせめて2桁にして製造中止にならない様にしては如	
何でしょうか	
メーカーが多すぎる。問屋在庫がないとメーカー発注で一週間かかるものがある。	
●先発で入っている内容量が異なるもの。1社発売中止になると 他社への切り替え時に出荷調整が入り、物	
が入らない混乱を招くので、事前に調節するなどのシステムを整えてほしい。規格や剤形違いは1回限りな	
どの処方もあり在庫負担。患者の承認あれば、先発同士でも剤形、規格変更、同一成分併売の銘柄変更も薬	
局裁量に任せて欲しい。	
採用しても直ぐに製造中止になるメーカーをどうにかしてほしい	
最近、ジェネリック医薬品の自主回収が目立ち、在庫確保が困難。ジェネリックの選定に悩む。安易にジェ	
ネリック医薬品を勧めるのも不安を生じる	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
北九州市(小倉)	医師にジェネリックの促進について話して欲しい。薬局サイドでの努力だけでは今でも70%に到達できません。
	処方医の意向が強い気がします。九州〇〇の小児科処方せんも患者様は了解していて ドクターの強い意向が感じます
	大きな病院で採用品以外のジェネリックへ変更してくれないケースがあり困ったことがあります
	処方医の先発品判断の撤廃
	一部の患者の中には、いまだにジェネリックへの拒否感が強い。ほとんど明確な理由がなく、なんとなくだったり、不確かな週刊誌の情報を鵜呑みにしているケース。小中学校からジェネリックについて教育し、日本人全員がジェネリックについて正しい理解をもつようになればいいと思う。
	一般名処方の推進と一般名処方の場合は患者が先発希望であったとしてもジェネリックを調剤することができるようにして頂けるともっと普及すると思う
	医師への一般名処方等啓発。公費保険者（生活保護のみではなく）原則化。先発品希望は後発品との差額を手出し（すべての公費負担者含む）
	一般名処方の促進 自己負担金のない患者の原則ジェネリック医薬品
	病院は1品目でも一般名処方があればいいし、小児科は負担金がないのでジェネリック医薬品にしないでいいと医師に言われる。医師の意識改革や病院へのペナルティがないと変わらないと思う。
	ジェネリックが発売された先発品はジェネリックと同じ薬価にしてAGとする。先発品に対してジェネリックがメーカーなど少ない時は発売を控えさせるなどして欲しい。在庫調整品が多く、ジェネリック変更を納得してもらった患者さんに申し訳ない
	先発使用には別途加算するなどの点数変更対応。薬価毎に違うのは難しいが。。
	GEでたら先発品の薬価を下げGE扱いへ
	ジェネリック医薬品の使用が多くなれば在庫が多くなり、在庫管理が煩雑。デッド薬品も多くなり、小規模な薬局にとっては負担が大きくなる
	後発品の名前でも、全てのメーカーの分が使用できるようにして、剤形も容量も同じであれば調剤してもいいというように規制を緩和してもらったらいいと思います。
	処方箋の一般名処方への切り換え・先発品と後発品の適応違いの解消。一定年齢以上は自己負担に（保険会社で対応の仕組みを作る）。一処方につき薬3剤までなど制限を作る
副作用のため、漢方薬を希望する患者のため、先発品の今までの結果を参考に採用している	
行政の強い指導。半強制でもよいと思う	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
北九州市(八幡)	自己負担金がゼロ、もしくは上限等で少ない場合、GEを希望しない割合が多い。公費を使っているのだから、先発を希望する際はGEとの差額の実費負担を義務化すれば良いと思う。自分の財布から出すなら、まず全員GEを希望すると思います。
	実際にお金の支払いのない人が先発品を希望した際にその差額分を徴収するようにできればかなりジェネリック医薬品の使用が促進されると思います
	先発希望の患者の負担額を増やす。 公費で先発の患者は負担金をとる。
	自己負担0の患者さんの使用促進が難しい
	公費の方は強制的にGEにしてはどうか
	ジェネリックについてご存知ない患者さんがまだ多数いらっしゃる(特に若い方で普段薬を使用しない方)ので認知度を上げる。ジェネリック変更率に変更不可指示、処方数を反映する。
	公費負担で、医療費負担がかからない方が説明してもジェネリック医薬品へ変更を応じてくれない。他の医療保険や税金が公費を支えているので優先的にジェネリック医薬品を使用すべきと思われる。ジェネリック医薬品を希望しない人は経済的にも余裕があるということなので、副作用等の特別の理由がない場合は、自費で1,000円くらい徴収する制度を設けていただきたい。公費の方からも徴収するようにして欲しい。広域病院の紹介状無しで受診で7,000円に負担を上げるとのニュースあったので、ジェネリック医薬品使用促進に協力しない方からは保険を使わずに自費で徴収すべきだと思います。
	先発お渡しの患者様へのジェネリック変更等のお知らせはがきの送付。病院(特に皮膚科)での全て不可チェックでの先発。理由が分からないので困っている。なぜ全て不可なのか。患者様の中にはGE希望がたくさんいるのに。安全性、有効性がわからないためとかならまだ分かるが。
	医師からの「変更不可」がある部分に対しても数値に算出されるのは不合理である。努力しているのに目標の80%超を達成できていないのは正直つらい。薬局を苦しめているとしか思えない。ジェネリック品が納入できない品目に関しても同様である
	ジェネリックのメーカー指定廃止
	今年【後発メーカー】が自主回収が多くとてもこまりました。1社が自主回収すると、他のメーカーに規制がかかり、商品が手に入らなくなり、薬局は大変です。結局先発に変更することもありました。
	供給安定
	供給がスムーズに行くかどうか。コロナ禍などの突発的な出来事に左右されずに安定的に製品を作れるかどうか
	・ジェネリックメーカーによっては急に品薄となったり販売中止となる場合が最近多くメーカーの倫理観の欠如を感じる。・オーソライズドジェネリックを広く普及させる事で患者や医師の考えも変わると思う。・ジェネリックメーカーをある程度絞る事で薬局のロス(デッドストック)を防ぐ事が出来ると思う(薬局間同士メーカーを共有し交換する事が出来るから)・先発品をなくし、ジェネリック同様成分名にすれば患者にとって全て同じ成分という認識になるのではないかと。
	安定供給
	安定した供給をしてほしい(回収などで入荷しない事があった)
	安定供給(販売中止等含む)、剤形、ミリ数等問題がなければ変更の裁量を認めて欲しい(患者さんの同意のもと)
	GEメーカーに安定供給ができるよう行政から指導をお願いしたい
	流通改善と出荷調整
	後発医薬品の安定供給。
	安定供給
	ジェネリック医薬品の販売中止、販売規制が多く感じる。安定供給できるような体制作りをお願いしたい。医師がジェネリック薬品を好んでいなかったり、先発品(あるいは先発品メーカー)重要する傾向があり、促進のためには医療機関に対してジェネリックの使用を義務化する必要がある。
	以前に比べ患者さん達もジェネリックに対する抵抗感も薄れてきたように感じます。Drの協力があればもっと推進できると思います。
	高齢者の方で公費を持っている方(生保以外)がジェネリックへの変更に難を示す方が多い感があり処方名を全て一般名で書かれると良いかも
	新薬の発売時から医薬品名を一般名にして頂けたら、普及出来ると思う。
	ジェネリック加算をもっとつける
	ジェネリックの薬価に段階がある点。ジェネリックに変更することで薬価差益が減少することがある点(薬価の設定に問題あり?)
	このまま後発品主導ならば特許切れのものは先発品として扱わなくすれば良い(→先発をなくす)もしくは後発をなくして特許切れは価格を安くすれば良い。価格も国が決めるのだし。
外用やSr等はAGを作って欲しい	
AGを	
ジェネリックの種類を減らして欲しい。ジェネリックのデッドストックが増えてどこにも引き取り手がないどのメーカーの薬品も添加剤の違いをなくし先発品と揃えるようにしてほしい。	
今のところうまくいっているのではなからうか。ツルバダのジェネリック許可がでたら、AIDS予防で宣伝してほしい	
ドクターによっては後発品の名前が覚えられないので先発品を処方続けており患者も変更を断る。一般名が覚えやすく短い名前でご記載できれば良いと思う	
ハブ剤は特に使用感の好みで先発品に戻す方が多いです。先発品と同等な使用感になるとよいです。保険者からのジェネリック使用促進が効果あるように感じます。「会社から言われているので・・・。」という方はスムーズにGEにできます。	
ジェネリック医薬品の使用促進は積極的に行っており着実に成果が出ているが供給に関して不足等の問題からイメージが悪くなるケースがあり、そのためにも各病院で採用されるGE品のメーカーが多い所のほうが良く、何らかのリストがあると助かる	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
福岡市	ジェネリックを安くして悪いものという認識の患者様が多いため。もっと啓蒙して欲しい。強制的なGE使用をすべき。
	これだけジェネリックを促されているにもかかわらず、先発希望される方はどれだけ説明してもジェネリックに同意はしていただけません。1度ジェネリックに変えても次回来局時に「やっぱり合わないから戻して」と言われます。特に眠剤のような精神に関わる薬はなおさらです。特に1割負担や公費でどちらにしても自己負担が変わらない場合に先発を希望される方も多く、疑問に思います。やはり心情としては、ジェネリックと先発の差額は負担割合に関わらず自己負担にしていきたいです。公費が途切れた途端に先発からジェネリックに変更される方もいらして、医療スタッフは疲弊しています。
	患者都合で先発を希望される場合、GEとの差額を患者負担にすべき
	自己負担額が0円の患者様は先発希望の割合が多いと感じます。先発の場合は一部負担をしていただく、先発希望の場合はそれ専用の医療証を使う、ジェネリック医薬品について知ってもらう等考えられます。
	自己負担のない人のジェネリックの拒否率が高い。負担がある人でも拒否してくる方もある程度おられます。医療費が増える中そういう場合は差額は自己負担にしていただければもっとジェネリック使用率は上がると思います
	先発品を希望される方はジェネリックとの差額を全額自己負担にすると良いと思う
	どんなに説明してもジェネリックは嫌だと決め込んでいる人の意識を変える事は難しい
	来局患者、特に年寄りがいくら説明しても後発品への変更を拒否する。ほぼ国保なので行政がもっと患者を説得して欲しい
	患者様の要望でジェネリックに変更できないケースが割とある
	いまだジェネリックに対して全てを嫌う患者様がいたので安心であるということを広げていけるとよりよいと思う。
	生保の方でもGE拒否され、医療機関へ申し入れても先発拒否され板挟みになりトラブルになる。恐怖を感じる
	生保で先発希望の方はGEとの差額分をもらっている生活費の中から出してもらっては？お勧めしても1種類さえも使おうとしない方がいます。
	ジェネリック拒否した薬代については3割の支払いが発生するetc。金額が安いor無料の方にも医療費を意識してもらえようとしていく
	他薬局でもらったのと同じメーカーの物を希望される方がいると医薬品のとりそろえに時間がかかる、再度の来局が無い時はデットストックになってしまう
	1割負担患者に先発希望者が多い。卸業者にジェネリックの小分けをつかかわせるジェネリック製薬会社に最小包装(30T)とか(10T)とか販売させる
	特に理由もなく先発希望される方に関しては、全額自己負担でよいと思います。
	医療負担のない患者に対して、積極的に変更するうように国や県の方から手紙や指導などをもっと行ってほしい。又はもっと強制力のある法令を出してほしい。Drもジェネリックに否定的な方もいて、医師側への指導も増やしてほしい。
	先発品からGE医薬品の切り替え時における患者様の不安軽減が課題だと考えます。
	(患者側) 医師が書いた商品名からの変更を嫌う(最初からジェネリック医薬品であれば気にしない)。(医師側) ジェネリック医薬品への変更には忌避感はないが、処方したい薬の成分名(一般名やジェネリック医薬品名)を探すのが面倒。処方する医療機関に登録がない薬に変更されては困る(理由は不明)以上が、提案や問合せに対してよくある返答です。今後、新薬も成分名で販売するなどの措置があれば自然と移行できそうに思います。ただ現場の混乱するので、それを防ぐ意味では先発品であることが一目でわかる目印つきの命名方法があると尚いいとも思います。
	一部患者のジェネリック拒否により、在庫が増えます。ジェネリック採用しても、一名のための先発在庫も多々あります。
	先発品にこだわる患者様がまだまだ多いです。テレビ番組などで、ジェネリックのメリットをもっとアピールされたら、意識も変わると思います。
	小児等お金がかからないのであれば、生保と同様後発品のみでの縛りを設ける
	全員ジェネリックにして先発品希望の患者がその差額を支払うべき。負担0や1割の人は金額があまり変わらないので変えようとしな
	啓蒙の努力不足
	公費負担の患者でジェネリック医薬品を希望されない患者が多い。
	先発希望の方は徴収をプラスする。
	課題：患者様及び御家族様がジェネリック医薬品を避ける。供給体制が不安。提案：ジェネリック医薬品をテレビなどのメディアで推進する。
	概ね、ジェネリックで出しているが、「GE」不可の処方がある場合、患者様の意向であるの一言につきる。目薬は先発メーカーの容器の使い勝手が良い。
	処方箋通りを希望される患者様が多い為、基幹病院の一般名処方が進むとさらにジェネリックの割合を増やすことが可能と思われる
	生活保護の方でまだジェネリックに理解を得られない方がいます。生活保護の方は強制的にジェネリックを採用させる動きがあっても良いと思います。
自己負担のない患者がジェネリック医薬品の使用について納得いただけないことが多い。生保単独のみならず、その他の公費等で自己負担が発生しない患者に対しても、後発医薬品の使用の義務化が必要と考える。また、処方元が患者ごとではなく、処方せんに対して機械的に後発医薬品への変更不可のチェックを入れる場合があるため、変更不可チェックが入っている医薬品やその数量も統計を取る必要があるのではないかと考える。	
ジェネリック医薬品メーカーさんが、ずっとCMを流してくださっていますが、薬局やメーカーが思っているほど、患者側にはジェネリック医薬品に無関心です。Q24.に解答した様に否定的な医師でも患者からジェネリックの要望を受ければ処方せざるえないと思いますので、ただ安くなるだけ(安かろう、悪かろう)のイメージを無くして頂ける様お願いします。	
高齢者ほどジェネリックの理解度が悪く、説明しても了承が得られないことが多い。国の方からもっと積極的にジェネリックを推進するような取り組みをしてほしいと思います。	
Q24にも挙げた、1割負担の方や公費(障害・母子など)の方からは金額的なメリットがないので断られるケースがしばしばあるので、原則ジェネリックにするなど根本的な措置を取らないと国の財政難の為にと伝えてもなかなか理解してもらえないです。加えて、湿布や軟膏などの外用剤はジェネリックが質や使用感で劣るケースがあり、元の先発品に戻して欲しいという声が多数です。(モーステープなど)	
患者様のジェネリックの理解度の向上	
お薬代のお支払いが発生しない方々で生活保護の方は先発希望される方はほぼいらっしやなくなりましたが、その他の公費お薬代が発生しない方々に先発医薬品を頑なに希望されるケースが多いように感じます。各個人のお考えなのですが、「保険制度を国民全体で支える」という意識が少なく感じられ、「ただジェネリック医薬品は先発品より安い薬」という考えのみのようにも感じます。「広く国民全体で保険制度を支える」という意識を公費支給されている方々に支給時に今以上に説明していく必要があるのではと感じています。	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
福岡市	湿布、軟膏、眼前薬、等はGE変更してもらえないケースが多い。
	Dr. がジェネリックそのものに偏見があるか、患者にも「GEはやめておいた方が良い」などと話しているようで、薬局の努力ではどうにもできない（GEに変更できない）事も多く、Dr. の対応に疑問を感じる事が有ります
	患者希望があっても先発医薬品しか使わせない病院や医師がまだまだ多くいるので意味のない変更不可が減るように働きかけて欲しいです
	後発品メーカー指定の処方箋を発行できないようにして欲しい（【病院名】の処方箋は全てメーカー指定で変更不可）。門前の薬局を利用意図がみえみえで、あり得ない。
	【病院名】の処方箋でジェネリック変更不可指示があり困ります
	「変更不可」欄に全て×と記載していく病院があります。【病院名】などが該当しますが、理由が「他のGEは検討していない」との事で、正直何とかほしいです。ジェネリック指定もふえており、同一成分で複数の銘柄を準備せざるをえない状況で、薬局の負担は増えています。そもそもGE変更は患者と薬剤師の合意のうでなされていかないと積極的促進にはつながらないと思います
	Drが患者さんにGEは効果がないから等と説明されている場合がある、変更不可の処方箋が減らないと改善されなと思う
	応需先ではない、広域処方箋先の病院で全てのジェネリックのメーカー指定で変更不可のところがあるが、これは問題にはならないのでしょうか？メーカーを変更するためTELをするため患者さんを待たせることになりまして、GEの考え方に合わない感じがします。
	医療機関によっては変更不可印が全てかかっている事があり促進の足かせになっていると感じる
	設問と若干異なるかとは思いますが、GEメーカーの指定がある広域処方箋対応に困っています。一割負担の方が金額差が少ないため先発を選ばれる事。・高齢の方が名称が変わる事を嫌がられる事
	①変更不可の制度の見直し②各薬剤の保険給付を一律にするジェネリックの価格とする。先発品を希望する患者は差額は自己負担とする
	【病院名】のような中規模病院でジェネリック医薬品での処方に変更不可のチェックがあり、問い合わせると「ジェネリックメーカーの変更は不可、先発品への変更は可」と回答する病院がある。ジェネリックメーカーを指定されると薬局に全て在庫することはできないので対応できず、先発品を調剤するしかなくなる。AGジェネリックに限定するとかでもなく、メーカー指定というのは門前以外では対応できず、ジェネリック促進には大きな課題と思われま
	ジェネリック薬品同種同効メーカーが多すぎて選択に困る。薬局の在庫負担も不可の処方箋で変更できないためこの病院も変更可で処方箋をしてほしい
	一般名処方であれば患者に説明の旨、変更できるが、変更不可などがあるケースが目立つ。一般名処方を促す様に医師会などに働きかけて欲しい。一般名処方していない分の減額をしてもよいのでは。
	医師の変更不可を後発率の算定からはずしていただきたい
	処方せんにジェネリック医薬品名で記載したうえで変更不可にされていることが多い病院があるが、門前以外の薬局はとも困っている。しかも特に製剤的工夫がされているわけでもないメーカーのものであるので疑問に感じている。
	処方せんの変更不可欄にチェックをつけたもの（特にGEメーカー指定のもの）に減点などの措置を希望します
	変更不可でない処方箋の場合に、基本処方箋はGEの方向性を出していただくと良い（処方箋に、その文言を記載するなど）
	・Dr. のGE変更不可理由をコード化していただきたい。患者希望ではなく医学的な根拠を元に出して頂きたい。・特定疾患のための薬など自己負担が無い方（上限がある方）に対する薬剤がGE薬変更となりにくい薬剤である。・GE薬と先発医薬品との差額は患者の負担とする算定にできないか？（自己負担が無い方もそこは負担していただく）
	意味があるとは思えない変更不可の記載がある処方箋を何とかしてほしい。
	後発品のメーカー指定はやめてほしい
	ジェネリック医薬品の銘柄を指定し、変更不可にするのはやめてほしい。疑義照会をするが、違う銘柄に変更は出来ず、先発品で処方だったらいいとの回答をされるので。
	変更不可の処方箋がある。後発品メーカー指定で、疑義紹介でも、他のメーカー変更はできず、先発品になら変更できる院所がある。
	先発品変更不可希望のドクターもまだ多く、また、後発品指定で別メーカーに変更不可としている病院もあるため、こちらから変更の提案が難しい。
	すべて一般名処方だとジェネリックへの変更がしやすい 先発品名だと変更不可の×がついていなくても、処方箋を持参した患者は医師がその医薬品（先発品）を望んでいると思っている為
	【病院名】はGE銘柄まで変更不可で処方されるため、同じ薬があるのにメーカー違いを採用しないといけな。使用されなくなると高確率でデッドストックとなるため、薬局からするとGE銘柄変更不可は避けてほしい。
	ジェネリックに変更不可の処方箋が多いので使用促進できない。
	検討していないためといったような、あいまいな変更不可の理由を認めないようにする。
	公費 変更不可、公費 患者希望は如何なものかと思えます。
	主治医の意向で変更不可である場合の対応方法について 患者意向が反映しにくい 変更不可なのに同じ分母で計算するのは薬局としてできることには限界がある
	変更不可をやめてほしい
	門前の医師が先発品で変更不可で処方する為どうしてもジェネリックを使えない。医師にも罰則規定など作ってくれないとこちらがしたくても使用促進できない。
	AGが発売されたら先発品は無くしてはどうか。何故両方存在するのかと指摘され、結果的に変更していただけない。 変更不可処方箋の場合、詳細に理由を記載していただきたい。今一度、変更不可で処方されるときに、本当に必要な指示なのかを考えて頂きたい。
処方医のジェネリックメーカーの変更不可印があるとメーカーを選びにくい	
ジェネリック医薬品のメーカー指定をする病院がある。先発医薬品からの変更不可ならまだしも、ジェネリック医薬品のメーカーを指定され、変更不可だったら薬局の在庫が増えるし、患者さんにも迷惑がかかる。取引のある御さんでは手に入らないメーカーの薬などもあり、非常に困りました。 後発品のメーカー指定は禁止してほしい。	
変更不可の撤廃	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
福岡市	安定した供給体制
	採用しても販売中止になることがあるので困ります。
	GE商品の品切れ（原料不足）で在庫停止があるので困る
	安定供給
	ジェネリック医薬品の採用品目によっては製造中止になったり供給不足で注文しても入荷しなかったりで、先発品に変えざるを得ない商品がいくつもあります。ジェネリック医薬品の使用促進をすすめるのであれば、行政としても何か対策を考えてほしい
	製造中止、欠品がないように指導してください
	時々メーカーの品切れがある事があるので、それがないようにして欲しい
	安定供給に問題が生じた場合、他のメーカーに変更して患者に不信感を抱かせる
	「サワシリン250g GEの供給が不安定」。GEの案内の件、1剤販売だけとかの方は封書案内は知らない。ただ全然変えない方へは保険医療を守るためにご協力下さいの趣旨をやってほしい。（負担額が安くなるだけでなく保険のシステムみんなのための文言が必要では？
	先発医薬品メーカーの関連会社がAGジェネリックを製造して安定供給出来ればもっと積極的に採用したいと思えます。
	ジェネリックメーカーの事情で突然供給停止や制限が入ることが続いているため、メーカーの品質や在庫管理の徹底が必要では。
	メーカーによるがGEの安定供給を望む。
	こちらが率先的に使いたいのに供給不安定なジェネリックが多すぎて、困る。
	あるメーカーで販売中止品目があると、先発品と他メーカーの流通が悪くなる状況を改善してほしい。
	ジェネリック医薬品の安定供給、処方箋の変更不可欄の廃止
	後発メーカーが責任をもって製造を続ける
	イメージ変更と流通の安定が重要だと思います。ジェネリック医薬品が安いのは質が悪いからというイメージを患者様が抱くのを防ぐことが大切です。また採用したジェネリック医薬品の自主回収や欠品が続くと薬局側も新規のジェネリック医薬品の採用をし辛くなるので、流通の安定が大切です。
	ひとつのジェネリック医薬品でも多数販売されているので、もっと減らしてもらいたい。
	原薬の供給不足など不安がある、製造メーカーをもっと減らした方がよい
	医師が先発主義なことが多い。一般処方でも後発にしないしてほしいなど意向を受けることがある。抗がん剤や外用など患者の不安感や使用感の差も課題
	薬局（薬剤師）のジェネリック医薬品への使用促進への意識は非常に高い一方で、病院の意識は低いと思います。特に看護師の方の理解度が低く、患者によって間違った知識（先発とちがうなど）を伝えた例もありました
	各医師の考え。特に高齢の医師が多い。【病院名】は全く変えてもらえない。
	処方医が後発薬への変更に消極的であるため、患者への変更提案するも断られるケースが多い。医師会へも後発薬使用促進を強く推進して頂きたいと常々感じます
	外用薬のジェネリックはDr.の意向もありなかなか変更できません。添加物の量の割合の違いでわざわざ先発品に変更されたりします
	患者さんは「先生の言う通りに」と言われることが多いので、処方箋に先発名で書かれると、それを希望される方が多い。医師に勧めていただけると患者さんもGEにされる可能性大。また、1割負担金の方などは、金額が変わらないとの理由で先発品を希望されない方もいる。なかなか後発品の割合が上がらない
	処方箋発行時、処方時にもっとDrよりGEで処方しますと一言付け加えていただきたい
	Drが理解してくれていないと治らない事がGEのせいになってしまう。流通などにも差があり卸をなくしてもコストを下げ薬価を下げると良い？
	処方箋に最初から×印がついている時は、Dr.のコメントがあれば患者さまにも説明できますが
	医師への使用促進の教育に努めてほしい
	処方医がジェネリック医薬品の商品名で処方すれば良いと思う
	医師と製薬会社の癒着
	医療従事者の一部が持っているゾロ品時代のイメージの撤廃をしなければ普及は難しいのではないのでしょうか
病院にもっと進めるように指導して欲しい。	
病院の処方箋記載が、ほぼ先発品の名前でくる。時代の流れの為、GE変更不可は付いてこないが、Dr本人が基本的にはGEに否定的である。その為、医師側にもGEについての指導をもっと行ってほしい。薬局だけでは推進できない また負担金の無い方への、GE変更をもっと義務化して欲しい	
医師のGE拒否があるので、医師の意識改革を行ってほしい。患者の負担も考慮しない場合があるので。	
医師の後発品に対する変化があれば増える。	
医療機関（Dr）のジェネリック医薬品変更への理解。	
処方元の医師からの商品指定がある場合、ジェネリック医薬品の使用が困難であること。	
Dr.の中には古い「安からう悪からう」の考えをまだ持っている方多くいる。まずは、Dr.の教育が必要。ジェネリックを採用した患者さんにいきなり生産終了で迷惑をかけた事がある。安定供給が必要。原料の調達先の分散化。	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
福岡市	Dr. が後発処方する場合、メーカー指定をせず一般名処方してほしい
	一般名処方箋の普及促進
	Drの処方が一般名だと移行（使用促進）しやすいとおもいます
	一般名処方の時に先発品を選択できないようにする
	一般名処方であっても先発をチョイスできる事 患者が希望していないのであれば、処方箋発行時に対処すべき
	広域処方せんでの、後発品のメーカー指定で変更できないことがあるので、一般名処方に統一して頂けると助かります。
	Q10に記入。窓口での支払いが安くなる、国の社会保険料の負担の軽減をアピールする。ジェネリック医薬品間の薬価差 なぜ？
	先発品と後発品の同薬価 後発品変更で算定可能なものとそうじゃないものがある。同薬価でも後発に変えたら算定できるようにしてほしい
	同成分のジェネリック医薬品中、薬価が異なるものがある事。
	抗てんかん薬や精神治療域等の薬はGE変更に抵抗がある患者さんがいるため、すべての医薬品にAGEが必要と思われる
	AGを増やして欲しい。AGならこちらから言いやすい。変なジェネリックは患者希望で変更しても、戻してと言われる。
	オーソライズドGEをもっと発売して欲しいです。GEの回収が多い（【後発メーカー】など）ので改善して欲しい。GEの流通量が少なく受注生産だったりすることで納期に時間がかかり困りますex) 【一般名】DS500g、【一般名】細粒etcなどです。ジェネリック医薬品というイメージが良くないのでこの際名前を変えて欲しいですex)新基準医薬品とか
	少なくともAG医薬品の存在を普及してほしい。
	オーソライズドジェネリックについて、広く周知を行なっていく必要があると思う。
	医療関係者の啓発のみではなく、医療費のかからない、生保、乳幼児等の啓発をもっと行って欲しい。特に生保の方、精神科ならではなかもしれない。以前【後発品名】から【後発品名】に変更した時、オーソライズドジェネリックにもかかわらず、色が違うから具合・体調が悪くなった。質の悪いジェネリックに変えてからのような事を言われた。ジェネリックへの使用促進では違うのですが、できるだけ先発を似たような見た目がいいです
	まれに効果が悪いと言われることがあり、実際先発品と比して何%の効果なのか不安になることがある。採用する時の参考にしたい
	整形なのでシップを変更することが多いがジェネリックにすると必ずはがれやすいとの事で先発にもどされてしまう。
	患者様がジェネリック希望されない方も多いため、「安い」＝「悪い」イメージをなくせればと考えます
	出来るだけわかりやすく説明する
	ジェネリックのイメージが悪い
	ジェネリックメーカーを患者が指定することがあり在庫が増える一方
	ジェネリックを使うようになって、在庫品目が増え、デッドも増え、期限切れも増えた。資源の無駄使い。ジェネリックメーカー側に医学・薬学的根拠に対する研鑽を積んで欲しい。知識レベルがメーカーにより差があり、そのことが医師の不信感を招いていると思う。どのメーカーでも良いとはならない
	品質を高めること、そしてそれをアピールする努力を各メーカーが行うこと
	薬価の高い商品だけはジェネリック会社が多いが、安くなると安易にやめて行く会社が多い。もう少しメーカーにも責任を取らせるべき、回収等も含めて。
	同じ規格の物を販売して欲しい。【先発品】パップ60、【後発品】パップなど
	診療して処方権があるドクターにGEのエビデンスを推進できるように提言すれば普及率は増加できると思います
	課題：ジェネリック医薬品同士の配合変化に対する情報があれば、より使用率が上がると思われます
	ジェネリック医薬品の取り組みはとても経済上、大切に有効だと思います。しかし、新しい医薬品の中には、とてつもなく高い薬価のものがありどうとかならないかと思っています。
なぜ金額ベースでなく数量ベースなのか解らない	
長期間先発品を服用している特に高齢の患者の場合、ジェネリックへ変更することで飲み忘れ、飲み間違いを生じることがまれに起こる恐れがあるため、ジェネリック変更後の服用状況についてしっかりとサポートする必要があると感じている。	
ジェネリック医薬品が廃棄にならない手段が欲しい。	
ジェネリック医薬品の味が分かる資料があると、患者様にジェネリックをお勧めしやすいと思われます。	
安定供給の面や品質、デーリーの信頼性の確保の面で少し心配です。	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
柳川山門・大牟田	規格、濃度毎のジェネリックが必要。処方医の後発品変更不可指示について明確な理由を記載するなど対応が必要。
	今後とも一般名処方が増えると、ジェネリックに変更しやすくなると思います
	①オーソライズドジェネリックがある先発品は発売中止にするべき。②適応症の異なるものに関してはそれも同一にして後発品を販売する必要がある。
	県民の皆様へジェネリック医薬品処方希望カードを配布してほしい
	生活保護のジェネリック使用拒否率は負担のある人よりも多い
	患者様側にはまだまだジェネリックを理解して頂いてない。特に高齢者。外用は良いが内服には抵抗がある。
	変更不可の処方箋をなくすこと。変更不可にできない仕組みにすること
	課題は供給の安定、先発との差異がないと患者・医師へ伝えること。差異があるものはしっかりデータを出してほしい。後発が出るときは先発との違いを全後発比較して一覧にもらえるとう医師に提案しやすい。また、何かあったときの後発品の対処に不安がある。使用経験はどうしようもないが、先発メーカー任せになりやすいと思う。
	外用薬はどうしても材質、使用感が違いものも多く変更した後の患者様の満足感が少ない。使用感の満足＝薬の効果が良いとなることが多いため、お気に入りがある中で変更しづらいです。
	湿布は、成分が同じでも、使用感やくっつき度が異なるので変更勧めにくい。
	ジェネリックの使用促進により、日本のメーカーの開発力がおちているそちらの方が大問題だと思っています！！
	ジェネリックについて説明する薬剤師の言い回しによって患者さんがジェネリックを拒否されている場合があります。そこへのアドバイスがあれば良いと思います。

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
久留米三井・浮羽・大川三瀬	先発品に変更不可にチェックがあり先発品を処方しています。先発品も5年経過すれば全てジェネリックにして欲しい。
	ジェネリックで薬価収載されているが現実製造中止で使用できない薬品がある、又、包装単位が1000錠のため使いづらい薬品がある。途中で製造中止になると患者が不安になるため継続供給をして欲しい
	先発品と後発品の薬価差がないものは後発品に入れられないようにしないと患者負担に差が出ず意味がない
	生活保護の方が（年齢が高いからか？）今まで先発品を服用していたら、先発品を希望され、GEへの変更を拒まれます。なかには、市やケースワーカーからも言われていないと言われる方もいらっしゃいます
	いまだ何となく不安という理由から先発を希望する患者がいる。保険者からのより強いGEへの依頼と、一般名処方原則GEで調剤ということで使用率は増えるのでは。（患者に対してGEへの説明が不足している薬局がある）
	店舗としてはGEを使用したい意思もあり、在庫も揃えています。患者の変えたくない・先発が良いという認識を変えなければさらにGE率を上げることは出来ないと考えています。
	患者様へのジェネリック薬品に対する教育機会を設けること
	選定療養（後発品の価格を標準として、高い先発品は差額を患者自己負担とする）の導入を前提とした議論
	患者さんのジェネリックに対する抵抗感。安定供給。
	年配者の患者さんのジェネリック医薬品は安い粗悪という概念が根深い 国の働きかけのおかげで以前よりは緩和されてきたと感じる
	医師が変更不可にすると患者さんが希望していても変更できない為、変更不可をなくす事でジェネリックはもっと使用されると思います
	処方箋に変更不可のチェックがなければ使用促進できると思う。
	先発品の変更不可をなくす、保険での公費併用等自己負担が少ない場合、精神科では医師も患者も先発品を好んでいる。
	たまにですが、ジェネリック薬に変更不可のチェックの入った処方箋があります。変更不可は先発のみでお願いしたい。
	ニセルゴリン、テプレノン等4月に日医工の自主回収があり、販売中止以降、他の全てのジェネリック会社が新規取扱を止めていて、先発を使わざるを得ない。販売中止後の他のジェネリックへの切替、販路を確保願いたい
	流通問題と販売数量不足のため新規取引をしないなどで取り扱えないなど問題ばかりです
	安定供給に不安があり、今までも販売中止が多々あり。特許が切れたらAGを必ず出してもらいたい。患者に安心してすめられる一後だしAGでは意味がない。
	AG商品であればある程度安心できるのかとも思います。突然の販売中止に戸惑っています。名称変更はまだ説明しやすいですが販売中止となると患者様が不安になられる事が多いと思います。
	販売中止になったり、出荷規制などが多く、GEを採用できないケースがあります。患者さんのことを考えると、途中からGEに変更するなどはなるべくしたくないです
	ジェネリック医薬品に変更しても途中で製造中止される事が多数あり。先発にも戻す事が出来ない事がある。ジェネリックを推進しているのは国などの行政だからジェネリックが製造中止になった場合、先発に戻すことが出来る何らかの措置をとって頂きたいです。ジェネリックメーカーにも責任を持たせて欲しいです。そうしないとジェネリックへの変更はかなりむずかしい事があります。
	原薬の問題などで供給が止まるケースが多く見られるのは問題だと思います
	最近、回収や出荷制限などの供給制限が非常に多い。加えて供給制限が改善される見込みのない商品もある。在庫管理や患者への説明など、現場へ無用な負担が増えてきている。また、商品が変更となることにより、不安を感じる患者もおられ、品質に懸念を感じられ、後発品を希望しない患者も存在する。メーカーには医薬品の安定供給に対するさらなる努力と責任を果たしてほしい。また責任を果たせないメーカーは販売を取り下げるべきである。
	GE使用促進にあたっては、薬局の努力も必要だが、Dr.の協力なしには促進することはないと思う。また、国民に関しても先発とGEが同等であること、医療経済的には必要不可欠なものであることをしっかりと周知してほしい。
	年配の患者様は薬局サイドでGEを勧めても主治医が何というか分からない(?)などを気にされるためなかなか進まない状況がある。DrサイドでGEを勧めてくれた方が意外とすんなりいく場面が多々あります。(DRへの忖度されてる人が多い)
	後発医薬品への変更に対してのDrの理解が進んでいけば現状変更できていない薬剤も変更できると思う 最近流行りのAGが増えていくと抵抗なく後発医薬品への切り替えが進むのですべての薬でAGを出して欲しい
Dr.の理解が必要なので、効果や副作用などあるゆる面での差異が少ない点を示され、理解を求めることが重要と考えます。	
【一般名】処方であれば、すべてGE品で調剤できるように法整備をしていただきたい	
同じメーカーがAGを発売したりするくらいなら先発品の薬価を一律にジェネリックに合わせてあげればジェネリックと同じ扱いになり医療費の削減になると思うのですが	
先発と後発とを併用して在庫している例があります。後発で副作用が出たりしたら、先発へ変更しています。安定供給も大事です	
病院の採用医薬品が先発でも、生活保護の方の処方について後発を準備する必要があり、デッドストックになる（定期処方じゃない場合）	
外用薬など使用感を実感できるものは基剤などの特徴が分かる一覧表があると活用しやすい、点眼などコンタクトレンズ使用不可も同様にあると活用しやすい。	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
直方鞍手	<p>ジェネリックが効かないと聞いた方が多く、変更を全くしてくれない方が多い。特定疾患の方は、全く変更をさせてくれない方も多く、説明しても全く聞き入れてくれない。かなり苦戦しています。</p> <p>公費負担（保険適用）はGEの最安値までにすべきです。色々と問題はあるとは思われますが。</p> <p>採用したメーカーが急に販売中止になるのが困る</p> <p>課題については、原料が調達できない等の理由で回収になった場合のジェネリックに対する信頼性が危惧されること、湿布に関してははがれやすいなどの品質の差が生じてしまうことがあります</p> <p>メーカーによっては、欠品や販売中止になる事があり、対応に困ったケースがある</p> <p>流通の安定。AGよりその他のジェネリックの薬価を安くした方がよいと思います。</p> <p>1品目に対して2~3社までのメーカーにしてもらいたい(メーカーは採算が合わなくなるとすぐに製造を中止するため)</p> <p>高齢の方は外観で認識するため、違いが少ないと促しやすい。安かろう悪かろうの風潮が未だに根付いている点も否めないが根気強く説得を続ける</p> <p>ジェネリック医薬品の使用促進は心がけているが、後発医薬品（AGでも）変更したとたん体調不良を訴える人がいる。先発医薬品の心理的効果もあるとみられ、すべてを変更できるわけではない。そろそろ限界なのでは。</p>
飯塚	<p>生活保護の方や障害の方など窓口支払いのない方に対しては金額でのメリットがなく説明しにくいです。一部負担金の支払いが無い方への変更がしやすい環境を作れると助かります。</p> <p>高齢者は1割負担なので元々安価なので後発に切り替える必要がないと言われる。</p> <p>精神科の患者は薬が変わることを嫌がる傾向がある。</p> <p>ジェネリック医薬品をメーカー指定した場合の変更不可をできないようにして欲しい</p> <p>変更不可の処方箋(なければ変えていく)</p> <p>変更不可の撤廃</p> <p>地域の基幹病院の処方箋のジェネリック医薬品が「薬剤によって効果・副作用が異なるため変更不可」となっているため、メーカー違いの同じ薬剤が何品も出てしまい在庫過多・パソコン入力誤りなどの問題が発生するため、積極的にジェネリックに取り組むのを妨げています。</p> <p>患者の同意が無くなればもっと使用促進につながると思う。処方せんの変更不可も無くなればとも思いません。</p> <p>ジェネリック医薬品に変更不可の指示がある処方はやめて欲しい。疑義照会なしに、薬局で自由に規格や剤形を変更出来る様にして欲しい。</p> <p>安定供給できないものは、後発品リストから外して欲しい</p> <p>供給が途絶えることがあり、安定的に使用できないことがある</p> <p>安定供給できないGEメーカーは参入して欲しいです。</p> <p>医師が後発品を使いたがらない場合どうしようもないです</p> <p>添加物や製法の違いにより、成分は同じでも先発品と同等であり同一ではない等の理由で医師や患者さんから拒否される事もあり、AGを増やして貰えれば医師からの信頼も高くなり、もっと使用が促進されると思う。</p> <p>適応症が異なる後発品が存在する事が問題です。早急な改善が必要ではないでしょうか？又、抗がん剤や精神科領域の薬などは症状増悪した時の責任は誰がとるのかと叱責された事があります。コロナ対応、対策でも同じですが「お願い」スタンスでの普及には限度があり、医療費削減が目的であれば患者様への選択権をなくしDR等での意図でGE使用が妥当ではないかと思えます。例)一般名処方→先発・後発どちらでも使用出来るではなく、後発のみ(メーカー問わず)使用出来る等です。(先発品しかないもの後発存在しない薬剤)後発変更不可の薬剤のみ先発銘柄で記載する)</p> <p>患者さんが拒否される場合は(説明を行っても)仕方ない事だと思います。処方医師もGE変更には替同される方も多くみられますが、否定的な医師もおられるのでその点の解消も必要では？</p> <p>一成分につき商品多すぎ。一成分、2~3社までの製造販売にすべき。在庫がデッドストックになりかねない病院勤務の方や役場などに勤務している方などが、GE、AGが苦手な様で、その考えを変えていく必要があると思います。</p> <p>医療従事者(特に看護師)ほど先発希望の割合が多い。新規GE発売時から適応症は先発品と合わせて欲しい。薬局での適応症の把握が難しいことがある為。公費で負担金がない方へのGE使用促進が課題である。</p>
田川	<p>使用する患者限定的で先発希望のため</p> <p>1割負担の患者さんがジェネリックに変えても金額があまり変わらない時があるので変更した場合のメリットが少ないので変更しない患者さんに対して2~3割負担に変えて欲しい</p> <p>高齢の方は今まで使用してきた薬剤を変更することに抵抗あるため今後薬剤費抑制の課題になりうる。</p> <p>患者へのさらなる理解をさえる為、何か宣伝等をもっとした方がよい</p> <p>患者様のジェネリック医薬品の理解</p> <p>処方医の変更不可を廃止した方が促進します。</p> <p>これだけ販売中止や販売に制限を設けなければならないのであれば、GEを推進することに疑問を持っています。メーカーは簡単に販売をやめすぎです。</p> <p>ジェネリックへの変更は、薬局と患者間で決められるようにしないとこれ以上の促進にはならないのではないかと</p> <p>医療機関の理解が得られないこと</p>

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
八女筑後	<p>患者さんの中に後発品に抵抗のある方がいる。特に高齢者。  処方元の医師が後発品への変更不可のチェックを入れていると後発品への使用促進につながらない  理由が不明な変更不可をなくしてほしい  医薬品の自主回収や製造中止に伴いジェネリック医薬品の使用がストップすることが多々あり行政の方から製薬会社に指導してほしい  流通の問題、メーカーの商品の販売中止  安定供給、後発体制加算の変更（低い薬局の減算と高値を維持している薬局は更に加算）  以前から言われているが、先発品との薬価差を自己負担にするか、そもそも先発品の薬価をジェネリックと同じにすればいい  ジェネリックを使用しないのを悪っぽく扱われているのが・・・。ジェネリックと同値に先発品をすれば良いだけなのに。</p>
京都	<p>ごく一部の患者様はブランド志向でジェネリック医薬品を拒んでいます。ジェネリック医薬品を拒む患者様には支払金額の負担割合を上げたりしたらジェネリック医薬品の使用がさらに促進されるかも知れません。  当薬局は、かなり力を入れて後発薬を使用しているが、患者によっては、頑なに先発希望するケースもあり、確実に患者の同意を頂いて変更しているが、85%位が限界に近いと思います。後発3を申請したいが、微妙な使用率で厳しい面があります。患者の同意を取らなくていいのであれば、まだ変更の余地はあるのですが難しい所です。メーカーが採算割れなのか製造中止なされる頻度が高すぎると思います。その度に患者に説明して他メーカーに変更するのですが、不審がられるケースも有ります。  処方医の理解が得られなければ、自己負担のない患者様には使用促進ができないケースがあります。  特別な場合以外、変更不可を認めないようお願いしたい。変更不可が多い医師についてペナルティを変更不可処方せんの廃止、先発にこだわりのある方の意識改革  メーカーの供給ができないケースが増えていて、先発品しか入手できない薬品が増えている。  製造、販売の中止が多く困っている。メーカーの採算ベースを考慮した薬価設定するなど継続的な安定供給をつよく希望する。回収があった時の供給のしわ寄せが生じないような仕組みもおねがいがしたい  シップは貼り心地、粘着力などの違いで、再度先発品に戻す患者さんが、内服薬に比べて多い。  新聞、週刊誌などにジェネリックは良くないと時々記事が出ている  ジェネリック医薬品という言葉自体がまだまだ浸透していない。今後国にも広報を徹底していただきたい。  医療機関薬局だけでなく、もう少し国からも患者へ直接的にジェネリックを推奨して頂きたい</p>
豊前築上	<p>ジェネリック医薬品に対する医師・患者の意識を変える必要があると考えます。また品名が長すぎるものは簡略化して頂きたいです。確認（監査）が大変。またOD錠を口腔内崩壊錠に変更する動きなどがあり、お薬手帳の印字が小さくなって見にくいなど、促進とは逆の変更が行われており、改善して頂きたいです。  ご年配の方はどうしても先発品の方が質が良いと思っているふしがあります。ジェネリック医薬品の認識がまだ低い方がいらっしゃるので積極的にジェネリックを使用する意義について公表して頂きたいです  発売中止が多い  処方せんの薬局名は全て一般名記載として薬局で患者さんと決定をだすことが望ましい。外用薬品について商品名だとDrの了承を必要とする為、時間に余裕が必要となります。  薬価の差があまりない医薬品は先発後発の枠から外してもらえたらいいとおもっています。先発品にこだわる方には負担金が少し増えるようにしたらいいのと思います。  メーカー商品の頃より、明らかに情報提供が減っている。後発品メーカーも情報提供をしっかりとしてほしい。</p>
遠賀中間	<p>医療費の逼迫防止、財源確保のために生保以外の公費患者をGEにすべきである。特に90のひとり親  患者さんにジェネリックが信頼されるよう、価格面だけでなく、安全性、効果についてよく説明する必要があります  患者さんは特に高齢者は飲み慣れた薬、Drが処方した薬を好み、変化を好まないことが多い、説明しても理解を得にくい  安定供給。先発薬希望患者の自己負担。全て一般名処方の義務化（Drからの説明）  外用薬への切替がスムーズになるといいなと思います。薬局側だけでなく”医師のすすめである”と患者様へのインパクトが大きいことを感じる場合があります  ジェネリックの品質が問題ないということをCMなどでアピールしてほしい。患者様の中には先発品＝ブランドで安心というイメージが強い方がいる。  眼科の処方箋応需が多い薬局だけれども極力患者さんとの対応でジェネリックを説明し推奨しています。  ジェネリック医薬品使用率は常に90%超。カットオフで点眼液の数量単位(瓶、mL数で違う)違いのため。なぜ統一できないか不明・・・故カットオフ50%以内ジェネリック調剤体制加算できず【先発品】内服薬はGEありだから【先発品】点眼液も検討。ジェネリック扱いにできるとGE使用促進になると思う。</p>

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
筑紫	一部負担がない方は先発品を継続されることが多い。負担金がない方は積極的でないように感じます。
	公費がある人は原則ジェネリックの徹底、AGがある先発品は原則販売停止へ
	小児科のお薬なので今の小さな子供を持つ親世代のジェネリック医薬品への信頼性を上げることではないかと思えます
	頑なに先発医薬品を希望される方がおられます。ジェネリックがあるのに先発を希望される方は、差額を実費で負担して頂く様にすれば、ジェネリックが促進されずとも問題ないと考えます。
	生保など自己負担がない患者で、患者希望で先発調剤する場合は差額分を自己負担させる。
	公費負担があり、自費負担のかからない患者様は、原則、ジェネリック医薬品を調剤するようにするか、ジェネリックで調剤した場合の負担金を超える保険料は、患者さんに負担してもらうような制度にした方がよいと思う
	精神科の薬は患者さんの薬品名のこだわりがあり、以前から飲んでるものとは変えたくない傾向がある。金額差が少ないとさらにいやがられる。
	患者様の先発薬希望がまだ多く感じます。又、新しいジェネリックが出た際は安定供給できるかは気になります。回収が多いのも気になります。
	処方箋に一般名処方しながらジェネリック不可の記載があった。ジェネリック不可の欄はなくすべき。先発を希望する人の自己負担を増やすべき。ジェネリックの採用は各薬局で判断して良いと考える
	Drからの変更不可をなくして欲しい。ジェネリックメーカーは発売した薬品は責任を持って薬を供給して欲しい
	処方箋に「変更不可欄」を設けない。使用不可の場合には備考欄を利用して理由を記入してもらうなどをすすめる。(現在Drから書かれる理由で多いのが「患者希望による」の記載が多いが、実際のところ患者さんが希望して先発を選んでいることはほとんどないことが分かっている)
	変更不可は薬剤特性上必要な場合のみとするなど
	銘柄指定変更不可の処方元にもジェネリック使用を推進するような働きかけ。
	耳鼻科の医師は、変更不可が多く 後発医薬品に変更できない事が多いので 改善して欲しい。
	医療機関のジェネリック変更不可指示が減ること、一般名処方が増えれば促進すると思う。
	広域病院の変更不可をなくす
	「先発品調剤不可」の処方箋記載と、それに対してのインセンティブ。あるいは一般名処方の場合は、GEが存在しない場合以外先発品調剤不可にする。
	突然なくなったり、供給不能になるのは非常に困ります。
	安定供給を望むがまれに自主回収などで先発品への切り替えを余儀なくされることがある、そうなった場合の解決策があれば教えてほしい。
	ここ数年安定供給に疑問な医薬品が多く、新規採用できないものが増えてきている点を改善してほしい
	薬局ではジェネリックを使用したくても門前のDrや高齢の患者様にはなかなか理解が得られません。わかりやすいジェネリックの案内等がもっと多く普及して欲しいです。
	薬局だけでなく病院の方にももっとジェネリック推進を国が行ってもらえればと思います。薬局でどれだけ努力しても病院がジェネリック不可ならどうしようもないためです。
	医師が否定的な事を患者様にお話している事が多い
	全て一般名処方の方がよいと思われる、医師へジェネリック促進
	先発品の特許が切れたら、そのまま後発品薬価に下がる仕組みにすれば、ここまで製造メーカーが乱立することは無かったはず。
AGの認知が乏しく採用しても先発も在庫しなくてはならない。AGの広告が必要	
ジェネリック医薬品の悪いイメージの払拭が必要 (安かろう悪かろう)	
薬局薬剤師は今熱心にGE促進に努力してるとは思いますが、一部週刊誌等マスメディアでネガティブキャンペーンがあればいくら薬剤師が説明しても信用してもらえません。また、Drが患者に1度でもジェネリックは・・・ということを診察中に言っていればその患者は先生が言ったからという理由でGEにはしません。それが何年前であっても変更はしません。	
高額かつ包装単位が大きい薬剤 (不良在庫が増える可能性あり)	
ジェネリック変更の強制力を薬局にもたせる	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
宗像	特にありません。医師により未だにジェネリック拒否があります。又患者の中には特に公費利用でジェネリックを拒否する方をできるだけジェネリックにしていますが嫌がられます
	患者様がジェネリック希望でも先生が不可な場合が多いです。先生に伝えても変えてくれないそうなので、そこは課題だと思います。
	ジェネリックメーカーが販売を中止する事例が多いと感じます。そのたびに変更しなければならず、手間がかかります。メーカー側も責任を持って供給して欲しいと思います。
	流通状況の改善、患者へのDrからのアプローチ、意味のない☒なしの後発医薬品変更不可コメントの撤廃(院内レセコンの機能の改善も含む)
	メーカーで原料の不足から製造がとどこおったことがあり違うメーカーに変更しましたがこのメーカーは大丈夫?と不安がありました。メーカーの安定供給を望みます・
	供給の安定。製造過程において絶体にあってはならないミスが起こったりしないか不安な点もある
	昨今のジェネリックメーカーの供給不足、供給停止、新規納入の拒否はひどいと思う。医療従事者、公務員や公費負担の方は生活保護の方並みの原則ジェネリックを徹底してよいと思う。正直なところ、採用薬をすべてジェネリックにして先発薬調剤を拒否できれば確実に普及すると思う。
	一般名処方場合はジェネリック使用と決めてはどうでしょうか
	先発経年でAGに移行されるシステムになるなど
	医師へのジェネリック医薬品の安全性を知らせる。AG品の製品を積極的に開発する。ジェネリック品を極端に嫌がる医師に点数的に懲罰を与える
	GE薬の選択権が患者ではなく薬剤師にあれば進むと思われま
	先発品希望者が多い為、AGは採用しやすいがそれでも先発品を希望される方が多い
	小児は負担金がないため先発を希望される方が一定数いるため、少額でかまわないので薬局に後発品在庫があるにも関わらず先発品を希望する方には負担金を課す様にすれば小児に関してもほとんどの方が後発にされると思います。
	粕屋
高齢の方ほど元々自己負担金が低いこともあってあまりメリットを感じてもらえず、国の医療費負担を削減できる事につながる事への理解が難しいようで、どうやって理解してもらえる説明ができるかが常に課題に感じています	
変更不可をなくすこと。せめてジェネリック医薬品(メーカー指定)での変更不可はなくしてほしい	
ジェネリック医薬品銘柄指定変更不可の廃止	
Drの判断によっては変更されない品目(変更不可)がある。Drの診療方針に基づく判断と思われるから、それ以上は立ち入れないところがある。	
不可印があれば変えられない。(般)処方だがコメントで先発で調剤してくださいと書いてあるのはいかなものかと思う。GE処方メーカー指定不可印を付けてくる医療機関があり困る。疑義照会にしても変更してもらえない。	
処方箋の変更不可の記載がある限り現状以上に進むことはないと考えます。	
ジェネリックメーカーが多すぎる	
安定供給	
変更不可印の処方箋、Dr.のGE理解	
ジェネリックを推進しない医師がまだ多い。医師が患者様と話す際、先発薬剤の名前で問診しており、患者様がなんの薬の話か分からなくなるという事例があった。	
後発品の値段を下げないと、患者が受けるメリットが少なく、先発品からの変更が進まない	
AGを出すくらいであれば、その品目の先発の存在が経過措置になるくらいになればいいと思う	
ジェネリック医薬品の包装(PTP)剤型の統一化。箱以外の部分は統一して欲しい。(メーカー名はPTPIには入れない等)	
あくまでも患者が選ぶこと。ジェネリックに変更した金額を答えると心臓、脈、血糖など検査値安定している方は特に今のままが良いと相談される。今後の課題である。	
地域で採用する銘柄を選定し、業界全体として医薬品の廃棄削減に向けて考えて欲しい	

薬剤師会	ジェネリック医薬品の使用促進にあたっての課題・提案
朝倉	<p>ジェネリック使用を嫌がる患者に対して、先発と後発の差額を直接患者に支払わせるか一般名処方しない医師や後発使用不可の処方発行する医師に罰則を与える法改正を行うべき</p> <p>変更不可をする際の減点などのルールがあれば</p> <p>ジェネリックメーカーが多すぎる</p> <p>安定供給（製造中止が多い）。薬価を3段階から統一して欲しい（一般人には理解されにくい）。適応症の違いがある（使えない方にもジェネリックの案内が来て現場は困る）。メーカー指定の意味が分からない</p> <p>「GEは偽物だから」と言っているDrがいるので使用に影響している</p> <p>一般名処方の拡大</p> <p>安全性をメディアなどを利用してもっと理解してもらう</p>
糸島	<p>公費や先発品希望患者の自費負担増等</p> <p>子ども医療費助成制度において実質負担0のため、保湿剤は先発希望の方が多いです。</p> <p>一般名処方であっても、医師からの意向でジェネリックの使用をしないものがある（変更不可処方になると病院側の点数が取れない）。今後門前薬局での後発医薬品使用率が低い場合、病院側の点数を下げるなどすると医師による意向が減るのではないかと思う</p> <p>変更不可のジェネリック医薬品の処方はやめていただきたい</p> <p>処方箋の記載に変更不可の処方があり、患者さんが希望しているのに無理であったり（相応の理由があると思われるのですが・・・？）、一般名処方ではなく、後発品メーカー指定外は先発品で・・・という処方箋があったり、条件付きの処方箋が見られることがあります</p> <p>ジェネリック指定の変更不可は廃止すべきと思う</p> <p>【後発メーカー】など回収が多い。GEメーカーでは、販売中止することがある</p> <p>後発のメーカーが多すぎる。安定供給ができないものは許可しないでほしい(ホスレノール0Dの後発が入らなくてとても困った)</p> <p>流通不足を解消してほしい。（変えたくても変えられません）一般名処方をもっと増やしてほしい。（義務化）</p> <p>先発品の名前も商品名でなく一般名にする。</p> <p>先発品とジェネリックとの料金差がそれほどないなら先発で、という意見がかなりあるので、その点を改善していただければいいとおもいます。</p> <p>後発品メーカーを選ぶ場合は、また採用するときは慎重にならざるを得ない</p> <p>薬局の在庫の都合は仕方ないと思うが、生活保護や一人親の方はジェネリック希望でなくても在庫あればジェネリックで出す決まり？があればまた割合が変わってくると思います。</p> <p>当薬局は処方箋対応需は少なくOTCが主体などでジェネリック医薬品にはあまり関心はありません、すみません</p>
-	<p>公費負担の人が本人希望によって先発薬を使用する場合は、薬剤費の〇割負担か、一律〇円の負担を課すようにしたほうがよい。</p> <p>患者自身が一般名でできた処方箋を先発希望する。説明してもわかってもらえない。先発で処方してもらえなかったからとよその薬局でもらっていたが当局に来るようになった患者もいる</p> <p>公費負担があり、自己負担が少ない又は無い患者様の場合、先発医薬品を選択する事が多いので、先発医薬品を選択した場合は、差額負担金の徴収等何か対策が必要と思う。</p> <p>生活保護の方はジェネリックで調剤することが基本であります。患者様がジェネリックの服用を拒否し先発でなければだめということが多々あります。理由を聞いても特に理由はないと答える方がいます。法的強制力を持たせてもよいかと思えます。もちろん薬剤師が納得する理由がある場合を除きます。</p> <p>若い年齢層の方々は、ジェネリック医薬品への変更は理解していただけるが、高齢のかたに、なかなか理解いただけない時がある。</p> <p>薬局や薬剤師だけでなく医師に言ってください。変更不可の処方箋が1枚でもあれば在庫は2倍になりますし一般名で処方して備考に変更不可とする先生もいます</p> <p>処方箋の変更不可を廃止する</p> <p>ジェネリック薬変更不可の指示の出来ない処方箋にしていきたいと思えます</p> <p>ジェネリック変更不可にする場合は処方箋に理由を書くなど。</p> <p>先発品からの変更不可の処方箋をなくす事。</p> <p>外用は主成分以外が統一されるといい。流通の安定。</p> <p>ドクターの理解も必要、最初のうちはなかなか使ってもらえなかった</p> <p>全ての処方を一般名処方にしていきたい。</p> <p>納入価の情報が知りたいです。というのも、当薬局では既に後発体制加算3を取得しているため、それ以上無理に後発品を増やすと単価が下がって赤字になり経営が厳しくなります。無理なく導入できる、先発と比べて赤字額が少ない後発品が一覧で分かれば良いのですが。</p> <p>品質が悪いのに変更しろはおかしい</p> <p>全てうまく運んでいるので課題はなし</p> <p>先発品も成分名にすると良いと思えます。論文も読みやすくなります。</p> <p>ジェネリックをすすめるのであれば先発品を販売中止にすれば良いのこの声のご年配女性より</p>